テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	会津のこころ	アウトブレイクカンパニー　萌える侵略者	浅井力也　（アトムポケット人物館　）	浅田真央物語	ATOM（アトム）	アドルフに告ぐ
著者	中村彰彦	榊一郎	柳川茂作　萌木ミカ画	青嶋ひろの	手塚治虫原作　トレーシー・ウエスト文	手塚治虫
出版社	PHP研究所（PHP文庫）	講談社	講談社	角川書店（角川つばさ文庫）	角川書店（角川つばさ文庫）	文藝春秋ほか
紹介コメント	幕末から明治にかけての激動の時代、悪者にされた会津人、愚直な生き方、大河ドラマの「ならぬものはならぬ」の精神で誠を貫いた人たちに感動する。特に、辞世の句は必読もの。	富士の樹海にあいた異世界への通路、その先には、ドラゴンが空を飛ぶファンタジー世界「神聖エルダント帝国」に通じていました。この異世界へ日本政府の要請でオタク文化を伝道することになった加納慎一が魔法だらけの異世界でオタク文化の学校を開いたりサッカーの御前試合をしたりする話です。　匿名	1985年12月15日、力也の一歳の誕生日でした。パパの両親も集まってにぎやかにパーティをしていたときのことです。「ぐぐ･･･、ころん」すごいじゃない力也！すごいすごい！クリスマス近く、力也の一歳の誕生日、それはとてもすてきな幸せな一日でした。	しゅじんこうの真央ちゃんが、がんばってむずかしいジャンプなどをせいこうさせていく物語です。真央ちゃんのお姉さんのまいちゃんとしょうぶをして、だいたい真央ちゃんがまけてしまって、家では口をきかないんです。まいちゃんはと真央ちゃんは、山田満知子さんががんばっておしえてくれたよ。	この本は、アトムという本です。いちばん心にのこったところは、「ごめんなさい」というところです。おもしろくて、かんどうする本なので、小説ですけど、みんなもぜひ、読んでみてください。二松亮太	主人こうの名はとうげ草平。この物語は弟のいさおがじゅうような手紙をもっていて、その手紙を兄の草平とゲシュタポで争う物語です。手紙の内容はアドルフヒットラーは、ユダヤ人と証明する大事な手紙です。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	勇気をもらえた本	家族のことを考えた本	びっくりした本	ちょっと窓を開けてみたくなる	人と犬との強い絆を感じた本	困難な目の前の壁を突破する
本のタイトル	I AM ZLATAN[おれはズラタン]　ズラタン・イブラヒモビッチ自伝	愛の一家	赤毛連盟　名探偵ホームズ	あさになったのでまどをあけますよ	あした会えるさ	あたりまえのことをバカになってちゃんとやる
著者	ズラタン・イブラヒモビッチ　ダビド・ラーゲルクランツ	アグネス・ザッパー作　遠山明子訳　マルタ・ヴェルシュ画	ドイル作　亀山龍樹訳	荒井良二	今泉文彦	小宮一慶
出版社	東邦出版	福音館書店	ポプラ社（ポプラポケット文庫）	講談社	茨城新聞社	サンマーク出版
紹介コメント	ぼくが今年、勇気をもらえた本は、「おれはズラタン」という本です。この本は、イブラヒモビッチ選手のざせつや苦のう、そしてどうやってそれをのりこえ、今プロとしてかつやくしているかを書いた本です。勇気をもらえるので、ぜひ、一度読んでみてください。	百年前のドイツの九人家族の日常でのでき事を優しい眼差しで描いている。信頼、愛情、尊敬、助け合いといった古めかしいが忘れたくない気持に溢れている。懐かしさが心に広がってくる。子供への接し方も学べるので子育て中の人にもぜひ読んでほしい。　野村和子	ぼくは、シャーロック・ホームズをすごいと思った。何故かというと、ふつうの人では解決できない問題をいろいろな手がかりを使って解決してしまうからです。たくさんのおどろきをくれるホームズのかつやくをぜひ読んでみてください。	朝、窓を開けると、いつもの景色が広がっている。みんな持っているただそれだけのことなのに、その向こうに、それが“当たり前”じゃなくなる時が来るかもしれないことを感じてしまいます。この“当たり前”のことが、実は自分が一番大切にしているものなんだと、この絵本を読んで初めて知りました。	山陽新聞でこの本のことを知った。<茨城県石岡市の常盤線石岡駅で十七年間、改札口を見つめる犬がいた。その死から二十八年後、判明した主人とは？>の紹介文と一途な目差をした雑種犬の写真に釘付けになった。その結末を知りたくて、直ぐ本を買って読み、犬には人の心が見えているのだと強く感じた。	合言葉はABC　仕事に対するストイックな取り組み方、自分をとことん追い込む姿勢、真剣勝負でひとつひとつの仕事に向かい全力投球、全力で立ち向かわなければ自己の能力は高められないという厳しい姿勢が2人著者の掛け合いで展開する。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。（上下）	アバタールチューナー クォンタムデビルサーガ 1～5	ありがとう子どもは悪くない！やんちゃ和尚これ子どもは救われる	生き物大探検　ドラえもんふしぎ探検シリーズ	いじめ14歳のMessage	一期一会　世界一の仲間。
著者	岡田麿里	五代ゆう	廣中邦充	藤子・F・不二雄	林慧樹	粟生こずえ
出版社	メディアファクトリー（MF文庫ダ・ヴィンチ）	早川書房（ハヤカワ文庫JA）	日本標準	小学館	小学館	学研教育出版
紹介コメント	「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」の内容は、小さいころに超平和バスターズという組を作っていた5人のうちの一人の少女が死んで、その霊を成仏させるために、高校生くらいになって、またその5人が集まり、その子の願いをかなえるというけっこう感動する物語です。	硬質な筆致に煌びやかなシリアス、西洋哲学からインド神話まで丁寧に織り込まれたSF作品です。余りSFには詳しくなくとも楽しめる作品。昔からのSFファンなら垣間見える古典SFへのオマージュも楽しめます。3巻以降からぐっと盛り上がってきますので、是非是非5巻通して読んで見てください！	この本は、やんちゃ和尚のお寺で、悩みをかかえた子ども達とのふれあいが書かれています。話をしたり、一緒に生活したり、けんかをしたりと絡みあいのコミュニケーションで和尚さんは子ども達に生きることを伝えていきます。時にきびしく、時にやさしく愛情をそそいでくれる和尚さんのファンになる本！	ぼくは、この本にあって、この本を読んで、とべないとりとか、こだいのネコとか、マッコウクジラがダイオウイカをたべるということがわかりました。この本ではじめてしったことがいっぱいあります。この本でとりのほねはこうなっていたんだとしりました。この本をみてはじめてしることが、いっぱいありました。	わたしが2013年に出会えてよかった本は、「いじめ14歳のMessage」です。主人公が、クラスでいじめられていてそれで、ある日、目が見えない人に出会って気が楽になったけど、やっぱりダメになり、自殺してしまう悲しいお話です。だけど、この本は、友情、そして家族の愛情がこもっています。	この本を、最初私が読んだ時、友達のことについて、とても考えさせられました。心の中で、一番に思ったことが、友達はとても大切な存在な人だなと気づかされました。なので、この本を読んで、友達を大切にしていきたいとこう私は、思いました。　藤田まな

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	恋したくなる?本	来年こそ、三日坊主をやめて日記を書こうと思える本	小学校6年間で、1番感動した本	続きが気になって目が離せなくなる本	読んで心に残った本	小学校生活で1番心に残った本
本のタイトル	あの日、ブルームーンに。	或る明治女学生日記 岡山・山陽女学校生「石原登女子」の記録	いじめ14歳のMessage	偉大なるしゅららぼん	一円大王さま	一期一会　一生の友だち。
著者	宮下恵茉	太田健一・竹内涼子編	林慧樹	万城目学	すとうあさえ作　白土あさこ絵	粟生こずえ
出版社	ポプラ社（ポプラ文庫ピュアフル）	吉備人出版	小学館	集英社	ひさかたチャイルド	学研
紹介コメント	主人公の結愛は、中3で初めて恋をした――。好きな人とだんだんと距離を縮めていく。だけど、相手は複雑な家庭の事情をもっていて・・・。読むと恋がしたくなる！?ドキドキの青春小説です。	明治28年から31年の4年間に、石原登女子（または登女）という女学生が綴った日記を誰にでも読める形で翻刻したものです。日清戦争当時の岡山の様子を、垣間見ることができます。日記中の人物を深く調べる歴史資料としても、重要だと思います。　野﨑　紀子	この本は、いじめを題材にした本です。主人公の彗佳は、いつも、教室で楽しくみんなと過ごしていました。でもある日突然、仲が良かったみんなに暴力や、無視をされたり、たえきれなくなった彗佳は、とうとう教室から飛び降りてしまいます。そしてココから、1秒も無だに出来ない戦いが始まります。りりか	物語は滋賀県の琵琶湖が舞台。不思議な力をもつ一族のお話です。主人公が城にすむことになったり、赤の制服をきなくちゃいけなかったり―。一番気になるのは「しゅららぼん」!!次々と明かされていく事実に目が離せない!!歴史とSF、そして青春―。その壮大な世界感をぜひ味わってほしいです!!　匿名	一円大王さまは最初に、主人公のようたが、おこづかいをもらいます。そのおこづかいでボールペンを買います。そのあと、一円大王がとうじょうします。この本は、一円大王が一円の大切さをおしえてくれる本です。読んでみてください。	この本は、友達のよさがわかる本です。私が一番心に残ったのは、第一話の、「ナミダのペットボトル」です。女の子のおばあちゃんが、いつも運動会を見にきてくれていて練習をしていたらおばあちゃんが亡くなっていた。女の子が、運動会をきらいになりそうなとき親友が…。　板野　きらら

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	イチロー　努力の天才バッター	“It（それ）”と呼ばれた子ジュニア版1～3	“It（それ）”と呼ばれた子ジュニア版1～3	一歩一歩天国犬からのメッセージ　好きだから。	田舎のパン屋が見つけた「腐る経済」	色の秘密
著者	高原寿夫	デイヴ・ペルザー	デイヴ・ペルザー	チーム151E☆	渡邉格	野村順一
出版社	旺文社	ヴィレッジブックス	ヴィレッジブックス	学研教育出版	講談社	文藝春秋
紹介コメント	ぼくは、イチローという人の本を読んで、イチローという人は、努力をして、あきらめないで、やっとプロ野球に入りました。一番かんどうした所は、努力をつづけて、首位打者になった所です。ぼくも、イチローみたいな首位打者とかあきらめない選手になりたいです。　高月敦	この本は虐待の話です。母親から、食べ物は食べてはいけない、兄弟で遊んではいけないと言われる所がかわいそうで。主人公が母親からひどい虐待を受けている所で虐待を受けた事のない自分が世界一の幸せ者だなと感じた一冊です。三星菜月	この本は、虐待された子どもがおとなになって自分がされたことを書いている本です。そしてこの本には、ディビッドという男の子がでてきます。その子は、母さんからなぐられたりとてもひどいことをされます。前までは、幸せだったのに。私はこの本を読んでとても感動しました。　祈舞	私がおすすめする本は「天国犬からのメッセージ」という本です。理由は、私も犬が好きで読んでいくと、なくなった犬たちのお話で、私も犬をかったようなかんじになり、どれだけかいぬしが悲しい気持ちになったのかが、私につたわってきて、読んでいてなみだがとまりませんでした。ぜひこの本をよんでみてください。	この本は、岡山県の勝山というところでパン屋を始めるという話である。主人公は、30歳で就職した有機農産物の卸売販売会社が産地偽装をしていたことを知り、小さくてもいいから本当のことをしたいと思うようになった。私は、主人公のその前向きな姿勢に心打たれた。世の中に不満を持つ人におすすめ。	人間の感覚は5つあるけれど、その内9割は視覚情報により決定されるという。さらに、色の組み合わせによる寒暖、好感・嫌悪感、美味しい・まずいも左右されるという。そのからくり、実験結果が本書で解き明かされている。日常生活を営むうえで知っておくと便利なことが満載の書である。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	小学校生活で一番勇気をもらえた本	わくわくする本	今までで1番感動した本	選択無	選択無	意外な私に出会いませんか
本のタイトル	一期一会　世界一のスキ。	いちばん星のドレス　なんでも魔女商会3	犬と私の10の約束	うさぎのさとうくん	ええところ	A型の取扱説明書
著者	粟生こずえ	あんびるやすこ	サイトウアカリ	相野谷由起	くすのきしげのり作　ふるしょうようこ絵	（記入無）
出版社	学研	岩崎書店	アスキー・メディアワークス（角川つばさ文庫）	小学館	学研教育出版	（記入無）
紹介コメント	この本は、女の子の恋についてのお話です。今スキな人がいる、気になる人がいる、恋に興味がある人にオススメです。この本を読んだらむねがドキドキして体じゅう幸せになれる本です。恋がうまくいくコツなども書いてあります。ぜひ、みなさんも読んでみてください。浅野由莉	この本は、ナナとシルクと言う女の子が、コンテスト用の、キレイなドレスを作るお話です。ドレスのアイデアがうかばなくて、困っていた時に、外を見ていたらキラリとひかりはじめたものをみつけました。こん色の夜空を見上げきれいないちばん星をみつけ、わくわくしてデザインをかきはじめます。	私が紹介する本は、「犬と私の10の約束」と言う本です。この本は、1匹の犬と人間の絆を描いたものです。私が感動した部分は、最後の犬が天国へと旅立つ場面です。ここでは、主人公と犬が10の約束を確め合い犬は主人公に、ありがとうと言い天国へ旅立ちました。心が温まる本です。ぜひ読んで下さい。るい	この本は、ぼくが1ばんだいすきな本です。みてください。	私もこの本のあいちゃんのように、自分にはすてきなところがないとおもっていたけど、友だちや先生にすてきなところを見つけてもらって元気をもらえました。私も友だちのすてきなところを見つけてあげられる人になりたいです。自分に自信がもてるこの本、おすすめです。	私の性格は、すこしひっこみじあんではずかしがり、そんな自分を変えられるのでは……　読み進むうちにどんどん引きこまれ、意外と当たっているなと思ったり、そんな自分に当てはまらないなと感じたり、家族や友達と、わいわい話し合うのもよいなあと思う一冊です。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	ウォルト・ディズニーの言葉　―今、我々は夢がかなえられる世界に生きている―	海づり名人	永遠の0	おおかみこどもの雨と雪	織田信長（アトムポケット人物館）	小津安二郎の反映画
著者	ウォルト・ディズニー	わちさんぺい	百田尚樹	細田守	すぎたとおる	吉田喜重
出版社	ぴあ	集英社	講談社（講談社文庫）	角川書店（角川文庫）	講談社	岩波書店
紹介コメント	この本は、ウォルト・ディズニーの人生や夢について書かれた本です。1928年の春に誕生したミッキー。しかし、この1匹のネズミが世に知られるようになるまでウォルト・ディズニーは沢山の挑戦や失敗を繰り返してきました。そんなウォルト・ディズニーだからこそ私たちに伝えられるメッセージがあります。	おもしろかった。つりのところが。	この本は、天才だが臆病者と言われていたのに自ら零戦機に乗り命を落とした健太郎の祖父宮部久蔵のことを健太郎は調べていた。健太郎はその当時、一緒に戦っていた人から話しを聞き、思いを深めます。自分は、その当時の戦っていた人の思いや考えを読み感銘を受けました。ぜひ読んでみてください。　匿名	お母さん「花」と子どもの「雨」と「雪」。この三人の秘密と幸せ。細田守さんのあこがれた「お母さんの姿」小さな家族の大きな幸せ。涙あふれる13年。みなさん見てください。	斉とう道三という美濃の支配者が信長を殺して尾張を手に入れるつもりでいたが、信長にその作戦をうらよみされ、道三が「わしの負け」だという。そして、道三は信長の後ろ盾となることを道三は約束した。ぜひ読んでください。	2013年12月に没後50年となった小津安二郎監督。数数の名作は今もって色褪せることはない。むしろ日本人が日本人らしさを失いつつある今再び必要とされているのではあるまいか？映画監督である著者が、偉大な先輩が映像に託したメッセージを深く読み解き、スクリーンの奥底を垣間見せてくれる。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	自分のオススメの本	おもしろい本	選択無	心にしみた本	選択無	たのしい本
本のタイトル	絵でわかる語源	エルマーのぼうけん	オオカミ少年ドルフィ	おこだでませんように	おつきさまこんばんは	おどるねこざかな
著者	丹羽哲也監修	R・S・ガネットさく　わたなべしげおやく	パウル・ヴァン・ローン作　西村由美訳	くすのきしげのり	林明子	わたなべゆういち
出版社	PHP研究所	福音館書店	学研	小学館	福音館書店	フレーベル館
紹介コメント	ぼくがオススメする本は、「語源」の本です。語源は、たまに家の人達などがつかっていて、意味がわからなかったから、その語源が日常生活で使いたいから、この本を選びました。意味や使い方などが書いてあるから小学生向けの本です。	この本は主人公のエルマーがどうぶつ島でおきゃくが川をわたるために使われているりゅうを、ぼうけんをして助ける物語です。おもしろいところは、ぼうけんをしているときに、危険な動物に会い食べられそうになったとき食べ物をあげて食べられずにすむところです。ぜひ読んでみてください。　昂太朗	七才のたんじょうびに、オオカミにへんしんしてしまったドルフィのお話です。よんでみると、すごくおもしろいし、ストーリーがよくわかりました。この本はオランダ児童文学賞を6回受賞している大人気シリーズです。みなさんもよんでみたら、ストーリーがわかるかもしれませんよ。	いつも怒られている男の子が短冊に「おこだでませんように」と書き、先生や母親が改心し笑顔が増えていきます。純粋な子供の祈り。目先の自分の事だけを考えがちな私たちですが、どうか子供たちの心に寄りそうことのできる大人になれますように…。紹介者N・H	子供が1歳半の頃に図書館で何度も借りた本です。最後の、おつきさまがあっかんべーをしているページまでくると、子供も舌を出して「べーしてるね」と毎回嬉しそうに言ってくれました。それが可愛くて、ついにクリスマスプレゼントにこの本を買ってしまいました。（たーくんのママ）	この本は、ねことさかながしゅじんこうです。わたしは、ねことさかながおどっているところがおもしろかったです。のこぎりざめは、ねことさかなをたべようとしたけど、ねこがうたとおどりをしてのこぎりざめをたのしませて、いっしょにおどっていたのがすごいとおもいました。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	怪異百物語	かいけつゾロリのてんごくとじごく	海賊とよばれた男	怪談・奇談	かげまるはなれていても、いっしょ	カゲロウデイズ
著者	不思議な世界を考える会	原ゆたか	百田尚樹	ラフカディオ・ハーン　田代三千稔訳	矢部美智代	じん（自然の敵P）
出版社	ポプラ社	ポプラ社	講談社	角川書店（角川文庫）	毎日新聞社	エンターブレイン
紹介コメント	いろんなえとかがあるのでよんでください。	えんま大王の本に「ゾロリ」とかいて、その本にかかれた人はかならずじごくにいかなければなりません。ゾロリをじごくにつれだすのが、あくまという人です。ゾロリをじごくにいかすために何回もどりょくしたができず、けっきょくえんま大王がじごくにつれていって、そこからゾロリのたびが始まるのです。	この物語は敗戦の夏、「国岡商店」の社長の国岡鐵造が戦争で借金だけが残るというどん底から始まる。しかし、自分の信念を貫き続けたことで国岡商店はどんな危機におちいっても再生していきます。この本の国岡鐵造の自分の信念を貫く姿からたくさんの勇気をもらえ、とてもいい本だと思いました。長谷川将	私がこの本にであったきっかけは学校での学級文庫にあって怖い表紙でとても気に入り、読もうと思ったのがきっかけです。本の内容は、短い怖い話がいっぱい入っています。一つ一つ簡潔に終わるので、短時間で本を読むのにぴったりです。そして、昔話のように話が進められるので、見てて新鮮で見入ってしまう本です。	かげまるはいろんな友達がいっぱいいる。でもほかのみんなには見えないっていうところがいいと思う。でもじつはけんたはかげまるのことがだいすきだと思った。	この本は、目に宿る能力を武器に、メカクシ団に迫る謎を解き明かしていく、とある夏の日の少年少女たちの非日常な物語です。この本を読んで、人と人との繋がりや仲間と協力してなにかをやりとげる大切さなど知ることができました。一度読みはじめると続きを早く読みたくなる本です。　匿名

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	お気に入りの本	恋したくなる本	ついわらっちゃう本	読んだらカープファンになる本	選択無	おもしろい本本
本のタイトル	おばけはみんなのみかたです	オレンジ色の校舎	音楽室の日曜日	カープの奥さま　支えることを選んだ女性たちの9つのストーリー	怪異百物語	かいけつゾロリのきょうふの宝さがし
著者	むらいかよ	由侑	村上しいこ	月刊ホームラン編著	不思議な世界を考える会	原ゆたか
出版社	ポプラ社	スターツ出版（ケータイ小説文庫　野いちご）	講談社	ザメディアジョン	ポプラ社	ポプラ社
紹介コメント	今日はしゅうぎょう式。ところがいつも一緒のルイ君、ミチルちゃんが今日はより道をして帰るそうです。川ぷちまでいくと、コルクのふたがしまったペットボトルがあり、それをぬくと、巨大なまじんがあらわれ願いを叶えてくれた。その願いは、「大人を子供にする」という願い。帰るとマンションじゅうがパニック！それから、大変なじけんが…	この本は恋をしたくなるような本で、主人公の気持ちになって泣けたり、笑えたり、ドキドキしたりできる本です。ライバルも出現して応援したくなります。この本を読んだら恋をしたくなるだけではなく、好きな人に会いたくなったり、共感できるし、幸せになれる気がする。そんな本です。　匿名	がっきたちがけんかをするところがとてもおもしろかった。かっぱおんせんにはいって、おやこがうたううたもとてもおもしろかった。音楽しつにある、えからベートーベンがでてきて、がっきたちとおふろにはいっていて、さいごにえんそうしていたところがとてもよかった。	9人の奥様の話が小説風に書いてあっておもしろいです。女友達から恋の話を果て居てるみたいな気持ちになります。特に印象に残った所は、倉選手の奥様の手料理。紹介されていたメニューをマツダスタジアムで食べたことがあるので、嬉しくなりました。キレイな奥様の写真にも注目です。梅野瞳	いろんな百物語があってたのしかった。えがたのしそうだった。	この本は、ゾロリが主役でゾロリは何をしても失敗ばかりだけどあきらめずにいろいろな事にちょうせんするので、この本がおもしろいと思いました。それとおもしろい理由はいろいろな人と出合って、いろいろな人といろいろな物を見つけたり、いろいろなことをする本です。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	学校の怪談	かっこちゃん1	叶恭子の知のジュエリー12ヵ月	カボちゃんのプリン	神様のカルテ1，2	神様のカルテ1～3巻
著者	常光徹	池田奈都子	叶恭子	高山 栄子／さく　武田 美穂／え	夏目草介	夏川草介
出版社	講談社	インフィニティ	イースト・プレス	理論社	小学館文庫	小学館
紹介コメント	このお話は、幽霊や自分の影が変なかっこうをしたりするこわい話です。とくにぼくがこれはこわい話だなと思ったのは、いっぱい話はあるけど、足あとという話です。ぼくはこの本はゾッとする話だと思います。こわい話が好きな人にはオススメです。	私はこの本に出てくる「きいちゃんのゆかた」という話が一番感動しました。大好きなお姉ちゃんのために一人でゆかたをぬった事がすごいと思いました。お姉ちゃんも自分の妹が障害をもっているのに結婚式で「妹は私の誇りです」と言ったのがすごいと思いました。私も、かっこちゃんみたいなやさしい先生になりたいです。	あのゴージャス姉妹の姉、恭子さんが中高生むけに語る人生訓。12ヵ月のレッスン仕立てで「知性」「ブス」「発見」などのテーマにそって、彼女が何を考え何を大切にし何を実践してきたかが明かされる。洞察に満ちた率直な意見はゆるぎない。短文で読みやすい。大人にも。Y	ぼくがすきなのは、カボちゃんのプリンです。カボちゃんのプリンをとどけにいく所に、マメタが、プリンを食べてしまいました。でも、ソラオくんは、プリンのかわりになるものをさがしています。でも、けっきょく、持っていけなかったけどカボちゃんにっこり。ソラオ君は、カボちゃんの親友だからと思った。	1から2へとよんでください。3は文庫化されてから読みたい。信州の病院勤務医と勤務先の医者やアパートの住居人が織りなす人間愛の小説。平凡ながらも一生懸命生きることや助け合って生きることの大切さに涙する。3よ早く文庫化になーれ。	信州にある病院で医者として多忙な毎日を過ごす主人公と、患者や身近にいる人々との、心温まるストーリーが詰まった本。本当に大切なものとは何かということに気づかされたり、心を動かされたい場面に出会いたいあなたにオススメの1冊です。（A．K）

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	最近読んでいる本	おもしろい本	おもしろい本	いつのまにか夢中になる本	ワクワクする本	正月がさらにたのしくなる本
本のタイトル	かいけつゾロリのてんごくとじごく	かいけつゾロリのなぞなぞ大さくせん	かいけつゾロリのまほうつかいのでし	怪盗レッド	学習漫画　世界の伝記　レオナルド・ダ・ビンチ	風が強く吹いている
著者	原ゆたか	原ゆたか	原ゆたか	秋木真		三浦しをん
出版社	ポプラ社	ポプラ社	ポプラ社	角川書店（角川つばさ文庫）	集英社	新潮社
紹介コメント	この本の内容は、ゾロリとイシシ、ノシシがいっしょに旅をしながらいろんなでき事がおきます。この本は、じごくにいる悪まが大王にゾロリをつれてこいと言って、大王が自分でゾロリをつれてきて、と中に天国にいるゾロリのママとあって、じごくでぼうけんをする本です。	ゾロリは、どの本でも失敗ばかりします。ゾロリは、イシシとノシシと言うなかまといっしょにぼうけんをしています。ゾロリはなぞなぞがとくいでいっぱい出されたなぞなぞにこたえていって、ぜんぶせいかいなのですごいと思いました。かいけつゾロリはすごくおもしろい本です。	トイレをかしてもらうところがおもしろかったです。	この本は主人公の女の子紅月飛鳥と飛鳥と同じ年のいとこケイが協力して事件を解決していく物語です。私が読んでいていつも夢中になるところは、アスカとケイが2人で力を合わせて悪者と戦うところです。このシーンは何度読んでもあきないし夢中になれます。ぜひ読んでみてください。S・A	レオナルド・ダ・ビンチは、すごいげいじゅつ家です。音楽もとてもとくいだし、いろんなことをけんきゅうして、そしてせっけいずをかいたしします。とくに、じょうずなのは絵です。モナ・リザの絵もかいています。みなさんもレオナルドのさくひんにきょうみがある方はぜひ読んでください。	箱根駅伝を知っていますか？箱根駅伝は10人で襷をつなぎ箱根から東京の往復を走るものです。この作品はこれが舞台です。作品に登場する個性さまざまな10人が、箱根駅伝を目指します。10人は箱根路を走れるでしょうか。これを見ればあなたも正月の風物詩である箱根駅伝の虜になる事まちがいなし。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	からだのしくみ（学習まんがドラえもんからだシリーズ）	下流志向	かわいい!たのしい!ハムスターの育て方	かんづめのひみつ	消える総生島	刻まれない明日
著者		内田樹	中村ちはる監修	鶴川たくじ作 文　田川 滋漫画	はやみねかおる	三崎亜記
出版社	小学館	講談社	ナツメ社	学研パブリッシングコミュニケーションビジネス事業室	講談社（青い鳥文庫）	祥伝社
紹介コメント	ジャイアンとスネオとしずかちゃんとのび太が、うんどうかいができなくてこまっているから・・・	「学ばなくなったこども」「働かなくなった成年」「自己責任」などネガティヴになってしまった日本人を真っ当にしたい著者の考え方を教えてくれる	この本をよんで思ったことは、100ページののぼるところです。かなあみケージだと思わずのぼってしまうこがいますが、じこがしんぱいです。あまりたかいところまでのぼらせないようにしようというところを、まなびました。	この本は、まん画でかんたんに、かんづめのことがよく分かります。ぼくは、かんづめにはすごく歴史があることが分かりました。例えばかんづめがくさらない理由、昔のかんづめのあけ方などが分かります。	私が2013年に出会えてよかった本は「消える総生島」です。これはたんていの本です。私はたんていの本があまり好きではないけど、物語がおもしろいからおすすめです。	10年前に街の中心から忽然と姿を消しながらも、営みを刻もうと“その日”を繰り返す3000人もの人々とそんな彼らに関わり続ける人たちの物語。同じく私たちも文字通り突然の出来事で多くの家族を失いました。明日を刻むことができる私たちが出来ることは何か、考えずにはいられませんでした。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	選択無	選択無	2013年で一番ゾクッとした本	学校の怪談 「C」池の伝説	心にのこる野球の話の本	感動した本
本のタイトル	ガチャガチャ☆GOTCHA！	勝海舟 （コミック版日本の歴史）	学校の怪談 「B」組にきた転校生	学校の怪談 「C」池の伝説	金本知憲　心が折れても、あきらめるな！	がばいばあちゃんの勇気がわく50の言葉
著者	宮下恵茉	中島健志作画　水谷俊樹原作　加来耕三企画・構成・監修	常光徹	常光徹	金本知憲	島田洋七
出版社	朝日学生新聞社	ポプラ社	講談社	講談社	学研	徳間書店
紹介コメント	ガチャガチャガッチャではさいしょに、字がきれいに書けない子が自分がかよっているじゅくに、ようち園のころ仲がよかったこがきます。・・・	江戸時代、文政6年（1823年）の正月にびんぼうごけにんとして、勝こきちの長男として、りん太郎（のちの海舟）は生まれた。それから、人におもちをひろってもらったけど、それをなげてしまった。でも、それをおとうさんにあやまった。おとうさんはおころうと思ったが…	この本は、幽霊が出たり、そこにはいない人の影が、うつったりする話があります。その中で、一番こわかったのは、「B」組にきた転校生という話です。この話は何でも知っている転校生が来てから始まります。ぼくは、この話を読んでゾクッとしました。こわい話が好きな人は読んでください。	この本は、うわさや本当にあったことを書いています。夏にこの本を読むと、すずしくなっていいですよ。トイレに行けなくなってしまうかも。怖いのが、きらいな人は、読まないほうがいいですよ。このうわさや本当にあったのをしんじるのは、自分しだいです。　啓二朗	みなさんは野球は好きですか。ぼくは大好きです。だからこんな本を紹介します。元プロ野球選手金本さんの本です。この本は金本さんの人生を書いた本です。金本さんは、何度も心が折れました。でもけっしてあきらめませんでした。そんな金本さんの本をみなさんぜひ読んでみてください。いっちゃん	私が一番感動した本は、「がばいばあちゃんの勇気がわく50の言葉」という本です。感動した場面は、「死ぬまで夢をもて！その夢が叶わなくてもしょせん夢だから」と言う場面です。「失敗してもいいから夢をあきらめるな」という意味だそうです。この言葉に、私は感動と勇気をもらいました。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	**きっと勇気がわいてくる魔法の言葉　1あこがれの人の言葉**	**樹のことばと石の封印シノダ！**	**きみに贈る　つばさ物語**	**きみは怪物を見たか**	**きょうの猫村さん**	**恐竜がくれた夏休み**
著者	中井俊已	富安陽子作　大庭賢哉絵	椎名誠［ほか］	中村計	ほしよりこ	はやみねかおる
出版社	汐文社	偕成社	角川書店（角川つばさ文庫）	講談社	マガジンハウス	講談社
紹介コメント	この本は、自分に自信がもてない人や、しょうらいの夢をもっている人におくる、勇気をあたえる言葉がかいてあります。イチロー選手やヘレン・ケラーなどの言葉などがかいてあるので、プロ野球選手などを目指している人は、さんこうにしたらいいと思います。	親族の反対をおしきり、人間と結婚したママ。実はママはキツネ！人間のパパとキツネのママの間に生まれた3人のこどもユイ、タクミ、モエには、キツネ一族からうけついだふしぎなチカラを持っていた。その兄弟がたんすのひきだしの中のなぞの世界にすいこまれた！わくわくハラハラする物語です。	世界のいろいろな国にいくと日本は本当にシアワセなんだなあと思いました。外国では、五さいの子があそびながらはたらいているからすごいなあと思いました。十さいぐらいの小さい子どもたちは小鳥やリスをつかまえなきゃ首だからかわいそうだなあと思いました。その小鳥やリスをえさみたいにしていました。	この本は、一番感動した本です。松井、松坂、斎藤、雄星選手、甲子園のヒーローたちの感動の物語です。野球をやめたいな、と思っていたころ、この本を読んでまだまだやれるという気持ちになり続けました。この本は、一番心に残ったし、これからも大切にしていきたいと思います。井上竜希	猫村さんは、家政婦です。家政婦は家政婦でも驚くことに猫なのです。でも、自分は猫と思っておらず、しっかり家政婦として働いて世間の話も仕事仲間としたりして、とても読んでいくとおもしろいのです。そして、ほしのよりこさんの手書きであろう鉛筆書きも、とてもいい味がでているのです。	妹から、この本は恐竜がでてきたり、主人公美亜の友達の仁が聞きまちがいをしていておもしろいよと教えてくれたので読んでみました。最初は恐竜なんか興味ないって思ったけど、この本を読んだら少し恐竜に興味がわきました。多分、この本を読んだら恐竜に興味ない人でも、興味がわくと思います。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	選択無	感動した本	楽しくて知りたいことが知れる本	みて、ためになる本	選択無	不思議なマジックの本
本のタイトル	**かめんらいだがいむ**	**かわいそうなぞう**	**かんづめのひみつ**	**かんづめのひみつ**	**ギネス世界記録2010**	**きみもできるMr. マリックの超魔術（全4巻）**
著者		つちやゆきおぶん　たけべもといちろうえ	鶴川たくじ作 文　田川 滋漫画	鶴川たくじ作 文　田川 滋漫画	クレイグ・グレンディ	
出版社		金の星社	学研パブリッシングコミュニケーションビジネス事業室	学研パブリッシングコミュニケーションビジネス事業室	ゴマブックス	汐文社
紹介コメント	？	わたしは、感動した本の中だったらこれを選びます。タイトルは、「かわいそうなぞう」です。この本は、戦争時代、上野動物園でぞうが戦争のために死んでしまうお話です。そのわけはこの本を読んだら分かるので、ぜひみなさんも読んでみてください。	かんづめのひみつは、まんがでみんながぎもんに思っているかんづめの事がたくさん書いてあります。みんながよくたべるかんづめはたくさんの物があって、魚やフルーツ、中にはミートソースまでも、たくさんのかんづめのひみつをこの本を読んで知ってみてください。	わたしのオススメの本は、「かんづめのひみつ」です。ほかにもたくさんひみつシリーズはあるけど、かんづめのれきしなど、どうやって作られたのかとか、絵がついていてとても分かりやすいです。マンガにもなっていて、「とてもいい本だな。」と思いました。	ぼくは、ギネス世界記録2010年の本にきめました。ギネス世界記録の本は、人々つくった世界記録がわかる本です。たとえば、海の中で自転車で走る、水中サイクリング。ヘビを口の中に入れていることやだれかが発見している生物やだれかが研究していて成功した事がギネスにのっています。	Mr. マリックの超魔術です。簡単な道具でできるので便利です。例えば、「夢の筒」は、何も入っていない筒の中から、物がたくさん出てくる超魔術があります。マジックが好きな人には、好かれそうなので、是非興味のある方は読んでみてください。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	**恐竜館**	**キリン**	**キリン**	**銀河鉄道の夜**	**金曜のバカ**	**クレジットカードのひみつ**
著者		山田悠介	山田悠介	宮沢賢治	越谷オサム	鶴川 たくじ作 文　たまだまさお漫画
出版社	小学館	角川書店(角川文庫)	角川書店（角川文庫）	講談社	角川書店（角川文庫）	学研パブリッシングコミュニケーションビジネス事業室
紹介コメント	この本を読むと、とても恐竜のことがよく分かります。なぜなら、クイズやぎもんなどがあり、よく恐竜のことが理解できます。恐竜が現れるまでの道のりなどがよく分かります。恐竜館は、ぎもんを答えてくれるすばらしい本です。恐竜館をみかけたら、ぜひ見てください。	この本は、天才精子バンクで生まれた兄、秀才とその弟、麒麟の物語だ。秀才は三歳で小学校高学年程の能力を身に付けていた。しかし、秀才は容姿に優れなかったため、弟の麒麟は「パーフェクトベイビー」を望む母親の期待を一身に背負っていた。だがその後麒麟の身にある衝撃の出来事が。―難波健太郎	私の紹介する本は『キリン』です。この本は主人公の麒麟がパーフェクトベイビーとして生まれたが、成長が停止してしまい母と兄から見捨てられ孤島に幽閉されます。しかし麒麟は家族の絆を信じ続けた切なさ100パーセントの本です。ぜひ読んでみてください。　匿名	銀河鉄道の夜は、幻想的で独特の世界観があり、深いお話で僕は大好きです。ジョバンニとカンパネルラの銀河鉄道での話も心に残ったけど、1番心に残ったのは、最後のさし絵にかいてある「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はありえない」この言葉で、本物の幸福を知りました。　真田龍	この本はいくつかのお話が入っています。その中の1つ『金曜のバカ』は、ある田舎の女子高生がオタク風の青年に出会い変なところできらいな金曜日の習い事の力を発揮してしまう物語です。女子高生の下校中でのつぶやきや、オタク風青年の変わった性格がとてもおもしろく、見どころです。　匿名	クレジットカードのひみつでクレジットカードのひみつが良く分かる。ひみつも分かるけど、ボケやツッコミもあっておもしろい。色んな所でクレジットカードが使えることが分かる。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	見方が変わった本	勉強になった本	師匠と弟子の愛の本	紅茶に乾杯	選択無	生きるすばらしさと勇気をもらう5つの物語
本のタイトル	**クビキリサイクル**	**クモのいと**	**黒魔女さんが通る！！**	**紅茶スパイ**	**皇帝ダリア　中西嘉津子歌集**	**心に響く小さな5つの物語**
著者	西尾維新	新開孝	石崎洋司	サラ･ローズ	中西嘉津子	藤尾秀昭文　片岡鶴太郎画
出版社	講談社	ポプラ社	講談社（青い鳥文庫）	原書房	潮汐社	致知出版社
紹介コメント	この本の登場人物は全員特徴的です。特に主人公に関しては作者の独特の文章力でかなり顕ちょです。先の読めない展かいや特徴的な主人公達のびょうしゃ等の多面的に物事をとらえる主人公達が物語を進めていく所がおもしろいです。みなさんもぜひよんでみてください。匿名	くもの巣をつくるようすや、くもがえさをつかまえるようす。いろいろなくものようすがのっています。くもは、いろいろなところでいとを使います。えさをつかまえたりするところが、とてもはくりょくがあると思います。すばやいうごきでえさをいとでまるめます。とにかくおもしろい本です。	この本はまちがって黒魔女をよびだしてしまい、黒魔女修行をすることになった女の子の話です。最初はいやいややっていた修行もきちんとやりとげ、師匠とも、いいようにつかわれたりするけどなんだかんだで仲が良く、互いに認めあっていてい関係です。おもしろく、ときに感動する本です。　K.K	皆さんは本を読み始める時、おそらく傍らに飲物を用意されるはず。緑茶にコーヒーあるいは紅茶だったり･･･。そう私もいつも通り紅茶と共に読書の旅に。物語はなんと主人公が中国からインドにかけてまさしく美味しい紅茶の木を捜しての旅に夢中になり、気がつけば紅茶を六杯も飲みほした私がいました。	作者の日常におこりうる物事や出来事が短い歌の中に十分に生かされている歌集だと思います。見える物、感じる物、生活の中の物すべてをよく観察し表現されており読みやすかったです。	人生と言う、与えられた時間、場、環境を、それぞれの立場で使うことを学ぶ5つの物語。特に、少年と小学校担任教師との感動エピソード「縁を生かす」は、涙が止まらない。人との交流、縁の大切さを学ぶ。短い物語に、心震え、揺り動かされ、感動し、生きるすばらしさと勇気をもらう。てるパパ

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	グレッグのダメ日記	黒い本	黒魔女さんが通る！！part16　黒魔女さんのホワイトデー	コインロッカー・ベイビーズ	皇帝ダリア　中西嘉津子歌集	皇帝ダリア　中西嘉津子歌集
著者	ジェフ・キニー	緑川聖司	石崎洋司	村上龍	中西嘉津子	中西嘉津子
出版社	ポプラ社	ポプラ社（ポプラポケット文庫）	講談社（青い鳥文庫）	講談社	潮汐社	潮汐社
紹介コメント	この本は、いろいろなダメな日記が書いてあります。たとえば友達関係や、家族関係のダメダメな日記がかかれています。そのおかげで、グレックはいやなことや悲しいことばかり…。さて、グレックは、はたしていいことはあるのか？それは読んでからのお楽しみに。礒野夏未	私は、2013年に出会えてよかった本は黒い本です。黒い本は、私をひきつけるように、私の目をひいてくれました。それほどはまる本です。黒い本は、かいだんの本です。とてもはまる本です。ぜひオススメします。他にも黄色い本や赤い本、青い本などなどたくさんあります。	寒～いギャグ好き黒魔女ギュービッドのでし黒鳥千代子（チョコ）が、強大な魔法使い大形京の封印の道具（パペット）を取ってしまい、大形をつかまえに、魔界に行き、絶体絶命、危険などが起こる大冒険をする本です。どんな困難にも負けずにいきたいと思った一さつです。黒岡大夢	毒と清々しさの二つを合わせ持つ名作。コインロッカーで生まれたキクとハシが破壊と解放を求めるストーリーです。疾走感溢れる文章が織り出す描写の一つ一つがリアルで読者を本の世界に引き込んでくれます。刺激がほしい人、毎日が少し退屈に感じる人にぜひ読んでもらいたいです。匿名	それぞれの歌に込められた思い、情景が手に取るようにわかる作品だと思います。親や家族、姉弟への、愛情が細かに歌にとじ込められて読んでいる者にも伝わって来る様です。	短歌は難しいと思っていましたが、ひとつひとつの情景が浮びわかりやすくてよかったです。忙しい時も開いた頁の歌に、慰められたり、ほろっとしたり、元気を貰っています。私にも作れそうな気持にさせてくれます。頂いた本ですが久しぶりに読む楽しさを教えてくれました。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	心に滲みる	たのしいえ本	おもしろかった本	今だからこそ読むべき漫画	しょうらいのために出会えてよかった本	偉人の本
本のタイトル	心の深みへ－「うつ社会」脱出のために－	こねこのきょうだいグルグルとゴロゴロ　ふうせんおばけ	こねこのトムのおはなし（ピーターラビットの絵本4）	この世界の片隅に	この人を見よ！歴史をつくった人びと伝4手塚治虫	この人を見よ！歴史をつくった人びと伝9マザー・テレサ
著者	河合隼雄、柳田邦男共著	江川智穂	ビアトリクス・ポターさく・えいしいももこやく	こうの史代	プロジェクト新・偉人伝	プロジェクト新・偉人伝
出版社	講談社	小学館	福音館書店	双葉社	ポプラ社	ポプラ社
紹介コメント	息子を不幸にも亡くした作家柳田邦男とユング学派の河合隼雄が対談し、幸せ、生きること、信仰などの哲学的根本問題を分かりやすく解く。	この本は、グルグルとゴロゴロがでてきます。このなかの、「きりんのバス」でおもしろかったところは、うんてんしゅのキリンが顔をだしていたところがおもしろいとおもいました。キリンがうんてんをするのがすごいとおもいました。	出てくるネコは、トムとミトンとモペットとおかあさんネコタビタです。おもしろい所は、トムはほかのネコにくらべて、言うことを聞かないネコで、いたずらをするネコです。おもしろい本です。ぜひ見て下さい。	昭和の広島を舞台にした漫画です。広島市に住んでいた主人公のすずは、呉にお嫁に行くのですが、ちょうどその頃戦争がはじまって･･･。この本の特徴は戦時中の生活がとてもリアルに描かれていることです。また、それにも関連していますが、市民の目から見た戦争が、漫画独特の技で表現されています。（N岡）	一生に十五万ページ、七百のマンガ、六十のアニメをつくった人間を知っているか？その名も手塚治虫だ！！生きた時代や発言、証言などとくに心にのこった証言は、「自然の畏怖をなくし、傲慢になった人類には必ずしっぺ返しがくる。」虫も大好きでした。そんな人のことがかかれた本、ぜひ読んでください。	マザー・テレサは、修道女になりたいとなやんだ。そして、マザー・テレサは、修道女になることを決意。その後、修道女となりインドへ。人が道で死んでいるのを見たマザー・テレサは、「清い心の家」などのしせつをつくったりと、まずしい人々を愛し続けました。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	皇帝ダリア　中西嘉津子歌集	皇帝ダリア　中西嘉津子歌集	心の森	心をそだてるはじめての伝記101人	子ザルのみわちゃんとうり坊	古事記完全講義
著者	中西嘉津子	中西嘉津子	小手鞠るい		深山さくら	竹田恒泰
出版社	潮汐社	潮汐社	金の星社	講談社	佼成出版社	学研パブリッシング
紹介コメント	パッチワークの表紙に魅せられ読むほどに次は何が出てくるのか期待させられる歌集。作者の人や物に対する思いやり、愛情が感じられる作品だと思います。一気に読みほしてしまいました。	装丁の美しさに惹かれて手にしました。読みやすく、風景や、家族のこと、仕事のこと、身近なさまざまなシーンが歌で表現されています。この歌集に出会ったことで、見えていた景色が少し変わったような気がします。 本で世界が広かるってこういうことなのかな、と思います。　高辻章江	母親をなくしたひびきくんが、お父さんと言葉の通じないアメリカへ行って、難病により言葉を出すことのできない少女デイジーと森で出会っていろいろなことをして、ひびきくんが学んでいく物語です。だれが読んでもなける本だと思います。	六年生になって、勉強が難しくなるよね？だけど、歴史なんて初めてだから、もう100点なんてとることむりむり!!だ・け・ど・。この『伝記』をよめば、小学校初めて習う、歴史も、だいじょうぶ！マンガでよみ、べんきょうに、出して、まんてんとって、お母さん、お父さんにほめられよう！小6N	この本は、本当にあったお話です。ある日、動物園に親をなくしたイノシシとサルの赤ちゃんがやってきました。ひとりぼっちがさみしくて毎晩なきさけぶ子ザルでしたが、イノシシといっしょにねかせてみると、イノシシとサルの間に…。二匹の友情に心温まるお話です。大橋楓	学生の時、古事記を買った。読みはじめて早々に挫折した。この本は最近テレビでよく見かける竹田氏(明治天皇の玄孫)の講義を文にしたものなので「少々砕け過ぎ」と言える程、解りやすい。宇宙の始まりまで表現する古事記、日本民族のなりたちを私達は何故？誰の意図で知らされなくなったのか。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	いままで読んだ本で1番面白かった本	感動した本	小学校6年間で一番おもしろかった本	本との出会い、本当の縁	備前岡山の先人を誇りと感じる感動作	選択無
本のタイトル	西遊記（上）	さくら	サトミちゃんちの8男子	しあわせの授業　認知症の妻が教えてくれたこと	始祖鳥記	しっぱいにかんぱい
著者	呉承恩作　　君島久子訳　瀬川康男画	馬場国敏 作／江頭路子 絵	こぐれ京	里村良一	飯嶋和一	宮川ひろ
出版社	福音館書店	金の星社	角川書店（角川つばさ文庫）	幻冬舎ルネッサンス	小学館	童心社
紹介コメント	紹介する本は西遊記（上）です。この本は、三蔵法師が、天竺へ経を取りにいこうとする物語が書かれています。天竺へ行く時に、たくさんのようかいが三蔵法師を食べようとし、弟子の孫悟空、猪八戒、沙悟浄の3人が、協力してようかいをたおそうとする所がこの物語の見所です。三宅琢生	私がこの本を読んで感動したことは、さくらという1ぴきの犬とひとみちゃんという女の子の物語です。さくらは原発被災地にのこされて必ずひとみちゃんたちはもどってくると思っていたけどなかなかもどってきません。だれかに会いたい気持ちはあたたかく背中をおしてくれます。前へ前へ歩き続けるのです。	この小説は、里見サトミちゃんの女の子が出てくるお話です。私が最初におもしろかったのは、苗字と名前が同じだったところがおもしろかったです。この話は、3人の男の子がでてきます。1人目は執事で、2人目は忍者がでてきて3人目は中2の不良がでてきます。ぜひ、読んでみてください。看友ちゃん	母、姉と亡くなり認知症の父を一人で支える私。介護関連の本は避けてきたが県立図書館でつい借りてしまった。老妻を献身的に介護する岐阜の里村氏。巻末のアドレスにメール。第九や北アルプス、共通のキーワードで結ばれ写真集など四冊が届く。奥様、北アルプス…氏の深い愛が溢れていた。　きょろこ	江戸時代の備前岡山を徹底したリアリズムで活写し切った時代小説の名作。京橋、表町、天瀬界隈や児島湾の港町、主人公の故郷八浜などの情景が色鮮やかに蘇る。鳥人と呼ばれた表具師を中心とする登場人物らの凛とした自分に正直な生き様に共感し、郷里の先人を誇りに思う。まさしく全岡山人必読！	「失敗はだれにでもあり、失敗経験が人を成長させてくれたり、思い出になったりする。」と祖父の弁。六年間リレー選手だった加奈は、一位でゴールしたにもかかわらず、バトンゾーンオーバーで失格。失意、家族の心配。まわりの人の温かい気配りで立ち直りかけた加奈。失敗経験と支える愛にかんぱーい。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	こちらゆかいな窓ふき会社（ロアルド・ダールコレクション15）	子どもの本100問100答	根源へ	西郷隆盛　（コミック版日本の歴史 ）	最後の夏	サイダーのひみつ
著者	ロアルド・ダール／作　クェンティン・ブレイク／絵　清水奈緒子／訳	大阪国際児童文学振興財団編	執行草舟	やまざきまこと作画　すぎたとおる原作　加来耕三企画・構成・監修	柚雪	田中久志漫画
出版社	評論社	創元社	講談社	ポプラ社	スターツ出版	学研広告SP事業部教材資料制作室
紹介コメント	この会社は、キリン、ペリカン、さるマネージャーのビリーでできています。ビリーは、〈グラバー〉と言う元おかし屋にあこがれていました。でも、ある日新しい人がきて会社をはじめました。ある日、公爵がやってきました。公爵は全く窓がふけません。そこで、会社をやとうという物語です。ドキドキ、ワクワク、夢あふれる物語。	全訳、完訳こそ上等で、再話や翻案などは下等な劣ったもの、といわんばかりの評論者が闊歩する現代社会において、楽しい読書の対象としての「翻案もの」の好きな人は、まさに溜飲を下げる。本は楽しく読みたい。多くの子ども読書関係者は自分の考えを押しつけて子どもを本嫌いにする。プー	人生とは何か、自分はどう生きるのか。著者は運命、情熱、自由などの事柄に「生命は未知なるものに挑戦する」「情熱は不滅性への渇望から生まれる」といった透徹した言葉で、行く先を照らしてくれる。魂と宇宙とのつながりさえ感じられる壮大な書です。	ぼくは、西郷隆盛の本を読んで思ったことは、西郷隆盛は手にけがをして、刀をつかえなくなってしまったから、ぼくは、ちょっとかわいそうに思いました。	この物語は高校生が主人公です。久しぶりに会った幼なじみには秘密があって、物語の途中の場面や最後に秘密が分かるシーンまで、何度も読み返してしまいます。友達に紹介された本ですが、感動したので、私も紹介したいと思いました。	サイダーのひみつはなぞだったこと、知りたかったことが、マンガでかいています。・・・

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	命の大切さに気付く本	選択無	感動する本	苦しみから救ってくれた本	勉強になった本	吹奏楽部（だった人）だけでなく、周りの人にも呼んで欲しい本
本のタイトル	「死」って、なに？ーかんがえよう、命のたいせつさー	しゅくだい	小説僕の初恋をキミに捧ぐ	シルバー・バーチの霊訓	人工衛星のひみつ	吹奏楽部あるある
著者	ローリー・クラスニー・ブラウン＆マーク・ブラウン作　高峰あづさ訳	宗正美子原案　いもとようこ文・絵	橋口いくよ著　青木琴美原作	近藤千雄	出口由美子漫画	吹奏楽部あるある研究会
出版社	文溪堂	岩崎書店	小学館（小学館文庫）	潮文社	学研パブリッシングコミュニケーションビジネス事業室	白夜書房
紹介コメント	いつかは、みんな死んでしまう。生まれてからすぐに死んでしまう人、生まれてから死ぬまで長い時間をすごしてきた人、じこで死んでしまった人。大切な人が死んでしまうのはかなしい。死んだことを信じたくない。もう生きかえれないので、だれだってかなしいです。けっして楽しくはないけど読んでください。	学校では毎日のように「しゅくだい」が出ますが、みなさんは次の日に提出できていますか？もぐらのもぐくんはある日「だっこ」のしゅくだいがでて、なかなかできませんでした。おうちの人たちはみんなお仕事がいそがしいからです。でもさいごは、みんなだっこしてもらって、にこにこうれしそうでした。	20歳まで生きられない心臓病の少年と、彼を献身的に想い続ける幼馴染の少女の、あまりにも切ないラブストーリー。めっちゃ感動します。（ｱｿﾊﾟｿﾏｿ）	この本は、人間の真実、苦悩の真実について語っています。そして、私を苦しみから救ってくれた本です。今まで、光を見出すため多くの種類の本を読みあさりましたが、その中で最も読んでほしい本です。今、多くの苦しみを抱えている方が、この本により心の平静を取り戻す事を願っています。匿名：クルミ	この本は、とても勉強になる本です。人工衛星にはいろいろな仕事があります。そのなかで一番印象にのこったことは、ひのでです。太陽観測衛星、太陽について未知の部分を調べたり、詳しく観察を行う科学衛星の一つです。ぜひ、読んでみてください。	吹奏楽部現役の人はもちろん、OG・OBの人も「あるある！」と言わずにいられません。何気ない吹奏楽部の日常を記した本ですが、猛スピードでページをめくってしまいます。挿絵も楽しくて、気軽に読める本です。（M.K）

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	**更級日記（くもんのまんが古典文学館）**	**三匹のおっさん**	**思考の整理学**	**しっぱいにかんぱい！**	**自分らしくいられるための50の小さな約束**	**車輪の下**
著者	晃月秋実まんが	有川浩	外山滋比古	宮川ひろ	廣瀬裕子	ヘルマン・ヘッセ
出版社	くもん出版	文藝春秋	筑摩書房（ちくま文庫）	童心社	大和書房	新潮社
紹介コメント	わたしはこの本を読んで思ったことは、「この本は、物語に恋いこがれ、胸ときめかす一人の少女」という本です。物語を恋する菅原孝標女が京に行ったりして、物語をさがす本です。ぜひ読んでみてください。	この本は、昔の悪ガキが町内のヒーローになる本です。1番おもしろいのは、3人のコンビネーションです。悪者を退治するときもそうですが、居酒屋にいる時の会話がクスクス笑えます。読み終わった後に、こんな町に住んでみたいと思える本です。ぜひ、3人の活躍ぶりを読んで下さい。　匿名	論理的思考を深く掘り下げ、生き方や自分で考えることの大切さをいろいろな角度から検証してゆく論理構成は秀逸です。グライダーと飛行機の違いは？	しっぱいにかんぱい！はとってもいいお話で、「一年生からずっと、リレーの選手にえらばれてきた女の子のかな。ことしはアンカーをまかされました。ところが、運動会のリレーで、まさかのしっぱいをしてしまい、おちこんでいます。そんな時おじいちゃんから電話が･･･。」という話です。元気がつく本です。	なぜこの本を選んだかというと自分を忘れずにいられると思ったからです。文はひとつひとつ短いのですが内容はそうだな、と思えるところがたくさんありました。25番目の合う人合わない人では、タイミングがあるからバランスを保たれているという文に感動しました。ぜひ読んでみてください。　武田海人	題名は聞いたことがあったけど重い印象があったので読む気がしなかった。ふと手に取って数ページ読むと引き込まれた。高校生の自分のおかれる境遇にぴったり合ったからだろう。他の高校生にも響くものがあると思う。何年か後にもう一度読み返した時、どう感じるのか私自身とても楽しみな一冊である。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	何度も読み返したくなる本	読むだけで心がキュンッとする本	心に、頭に残った一冊	勉強になった本	物語の力	今まで読んだ中の一番感動した本
本のタイトル	**ステップファザー・ステップ**	**3D恋　ディナ**	**世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド**	**接着剤のひみつ**	**1000の風1000のチェロ**	**旅猫リポート**
著者	宮部みゆき	一の瀬光	村上春樹	望月恭子他	いせひでこ	有川浩
出版社	講談社	大日本図書	新潮社	学研	偕成社	文藝春秋
紹介コメント	中学生の双子の兄弟が住んでいる家に、プロの泥棒が落っこちてきた！双子の両親が駆け落ちしていたため、しぶしぶ父親代わりをすることになった泥棒だったが、やがて本当の家族のような絆で3人は結ばれていく。ユーモアとペーソスは1級品、読めば満足することうけあいです。紹介者：みけにゃんこ	とある病院に入院している小学校最高学年の大場恵美。恵美は兄から届いた手紙を読んでいた。すると窓に何かがうつっていた。それには天使の羽がついていて、急に私の病気を治してくれた。それを治してくれたテオと恵美はこれから先どうなるのでしょうか。　匿名	「世界の終わり」とは想像世界。そこでは「私」の思い通りにコトが進む。「私」は、同時に、想像世界に生きることの危険性―現実世界に戻ることの困難さも知っている。この本では、主人公が想像世界を受け入れる。これは何を意味するのか。考えさせられる作品です。植野美保	この接着剤はかざりがおちたとき、この接着剤でひっつけるとおちないようになる強力な接着剤です。スマホやつくえやテレビなどでもつかわれていて、キーホルダーやマネキンにも使われています。	「1000の風1000のチェロ」タイトルそのまま、1000通りの物語がある中で、私達は人と出会う。誰かの物語の中に私が在るのだ。互いに重なり合い、分かち合うこと。この本は、まず癒してくれて、その後元気をくれる。優しくて強い。この本を読んだ後はブレない私が在る。（匿名）	この本は、これまでの有川さんの本と全く雰囲気が異なるストーリーでした。たまたまここに出てくる”ナナ”という猫が私が飼っているのと同じ名前で境遇も似ていたのでとても共感しました。ここまでボロボロに泣いたのは初めてです。命の大切さというか儚さを教えてくれるとても切ない本でした。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

岡山ブックス　書名順全ブックリスト（岡山県立図書館発行2014.2）

本のタイトル	終末のフール	春愁（小説集「しづ女の生涯」より）	少女ポリアンナ「心ときめく☆夢みるプリンセスの物語」収録	ずかんヘンテコ姿の生き物	空に住む　～Living　in　Your　Sky～	だいじょうぶ3組
著者	伊坂幸太郎	三浦哲郎	ポーター（著）　田村セツコ（絵）　立原えりか（文）	今泉忠明	小竹正人	乙武洋匡
出版社	集英社(集英社文庫)	大修館書店	ナツメ社	技術評論社	講談社	講談社
紹介コメント	僕は終末のフールを読んで感動しました。この本は小惑星が八年後に衝突し、地球は滅亡すると予告されてから五年後の仙台北部の団地「ヒルズタウン」のお話です。余命三年の中で、家族の再建、絆など今を必死に生きる人たちの短編小説です。　川本光毅	「春愁」は、高校の国語の授業で習いました。高校のサッカー部である由良と藤尾が中学校から知り合いの奈緒に好意をよせることから始まります。「春愁」という題名における「春は季節だけでなく、恋と友情との間で揺れ動く青春時代の意味も表し、「愁」は恋の痛みだけでなく、人生の悲しみも表しています。	幼くして父母を失ったポリアンナだが、父から遺された「幸福のゲーム」をして何事にも明るく向かい合う。一人の少女の生き方として、現代の少女たちにも見習うところは多い。田村セツコさんのさし絵も昔ながらで本当にかわいい。タイトルのとおり（おばさんでも）「心ときめく」作品だ。湖上の美人希	このヘンテコ姿の生き物の本は、ヘンテコな動物や虫のことがかいていておもしろかったです。この本にはヘンテコな陸、空、海の生き物が書いてあり、ちゃんと解説もある。この本には、60種類ぐらいなヘンテコな生き物がいておもしろかったです。	この本は、小説に初めて主題歌のついた本である。まるで空に住んでいるような気分になる高層マンションに住み、猫と自由気ままに過ごしていく小説である。しかし、少しして猫が病気にかかり懸命に世話をするが死んでしまう。猫が死んでも泣けなかった主人公が友人との話などで徐々に心を開いていく。	「赤尾慎之介」という、生まれつき手足がない先生と個性豊かな28人の物語。1年間の5年3組の出来事はむだではなくて・・・成長につながった。学校では、教えられないことを学べる。陽介、慎吾、京子、公彦、文乃、康平、さやか、さとこ・・・ありがとう。6年生でも担任の先生が・・・

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	環境問題について考えさせられた本	ちょっと気になる本	今年の行事のことでためになった本	自分もがんばろうと思える本	おもしろくて勉強になる本	大自然と人間
本のタイトル	タマゾン川　多摩川でいのちを考える	探検家36歳の憂鬱	男子☆弁当部　オレらの青空おむすび大作戦！	チームふたり	ちびまる子ちゃんの四字熟語教室	デルス・ウザラー　森の人
著者	山崎充哲	角幡唯介	イノウエミホコ	吉野万理子	川嶋優著　さくらももこキャラクター原作	アルセーニエフ作　パヴリーシン絵
出版社	旬報社	文藝春秋	ポプラ社	学研	集英社	群像社
紹介コメント	東京を流れる多摩川は今、清流を代表する魚アユが百万匹ものぼってくる、まさに「命がきらめいている川」です。しかし多摩川には別の大きな問題があります。外来魚があたりまえのように暮らしているのです。この本は多摩川を通して、生態系や自然の大切さについて教えてくれます。おすすめです。兒子大地	私は小学校の卒業アルバムに、どこか人跡未踏の地で行き倒れてもいいと書いている。探検家になれなかった私に、その世界を少しのぞかせてくれる書だ。ノンフィクション作家として多くの賞をとっているのに、普通の適齢期の男性のように、合コンで相手を捜し、苦悩している姿が微笑ましい。	今年5年生では、米作りをしました。この男子弁当部の本の中でも米作りの手伝いをします。そして、最高のおにぎりを作るためにけんきゅうしておにぎりを作るお話です。5年生では、自分たちで作る弁当というこうぎなどがあって作ってみたりします。なので、男子弁当部の料理ノートを見て実践してます。	ぼくが紹介する本は「チームふたり」と言う本です。この本でぼくが「主人公もがんばっているからぼくもがんばろう」と思った場面は、主人公大地のお父さんが会社をやめなきゃいけなくなる場面です。大地は親を安心させるために自分が新聞配達を始めようとします。がんばろうと思えるのでぜひ読んでください。　音	この本は、国語の勉強にもなるし、毎日の生活を通して、人間としての勉強に大変役立つからです。この本は、1ページずつに四字熟語、意味、解説、参考、使い方、そして四字熟語をつかったマンガがあります。おもしろくて勉強になるので、読んでみてください。	いまから百年以上前の極東ロシアを舞台とする著者アルセーニエフと現地人の老猟師デルス・ウザラーの探検の物語。ハバロフスク生まれの画家パヴリーシンの大自然を描くさし絵はどの一枚をとっても美しく、作品としての完成度が高い。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	**高橋由伸　華麗なるスラッガー**	**タマゾン川**	**タンタンの冒険旅行「シドニー行き714便」**	**チーズ一家**	**ちいちゃんのかげおくり**	**チーム・バチスタの栄光**
著者	鳥飼新市	山崎充哲	エルジェ作　川口恵子訳	たみやともか	あまんきみこ作　上野紀子絵	海堂尊
出版社	旺文社	旬報社	福音館書店	小学館	あかね書房	宝島社
紹介コメント	この話は、高橋由伸選手のお話です。ぼくは、高橋選手のさいごまであきらめずにボールを追う姿に感動しました。ぼくも野球をしているので高橋選手みたいなあきらめない強い選手になりたいです。福武優人	無責任な人間が、川へ捨てた「外国の魚」、例えばアマゾンの熱帯魚などが、日本の魚を食べて生態系を崩してしまい、そんな事から多摩川が「タマゾン川」と呼ばれるようになりました。はたしてこの問題は、解決するのでしょうか。ぜひ読んでください。中嶋啓人	最しょのほうでこけそうになってしりあいとあうところがおもしろいです。	チーズの中にも色々なチーズがあることに気がついた。またチーズの兄弟も1人1人表情があっておもしろい。	わたしはちいちゃんのかげおくりを読んで、昔はせんそうがおこり命をうしなう人ばかりで「かわいそうだな。」と思いました。ちいちゃんはまだ小さいのに命をおとしたところがとても悲しかったです。この本がきっかけでたくさんの本を読みました。	以前、テレビドラマにもなったことがある。天才外科チームの殺人調査を行うストーリー。第4回「このミス」大賞を受賞したことで話題になった。この本を読んで、私の考え方が変わった。手術中の殺人は考えたことがなく、衝撃的だった。読みたいと思わせるようなわくわく感があった。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	読んでいる時にワクワクした本	選択無	おもしろい本	もう一度、読みたくなる本	楽しい本	選択無
本のタイトル	**てんやわんや名探偵**	**どうぞのいす**	**どうぶつチャンピオン図鑑**	**動物と話せる少女リリアーネ⑥赤ちゃんパンダのママを探して**	**とっておきの詩**	**ともだちおまじない**
著者	杉山亮	香山美子作　柿本幸造絵	マリオ・ゴンボリ	タニヤ・シュテーブナー	村上しいこ	内田麟太郎作　降矢なな絵
出版社	偕成社	ひさかたチャイルド	フレーベル館	学研教育出版	PHP研究所	偕成社
紹介コメント	名探偵、ミルキー杉山がいろいろな難事件を解決する本です。〈事件その2〉では、大どろぼうのムッシュが「ケーキのフランス堂」にきょうはくじょうをだし、向かいの店に入ろうとする話です。ぜひ、よんでください。	この本をよむとしんせつなきもちになれます。ぼくもこの本のどうぶつのように、ともだちにどうぞといってゆずってあげたり、やさしくしてあげたりしていきたいです。「どうぞ」ということばは、知らないうちにみんなを幸せにすることばだとおもいました。	この本は、いろいろなどうぶつのチャンピオンがのっています。いろいろなげいがのっています。ぼくがいちばんすきなところは、大むかしのどうぶつのっているページです。	お母さんパンダに育児放きされた赤ちゃんパンダ、ひとりぼっちのカンガルー。主人公のリリアーネとその親友イザヤは、リリアーネがもっている、「動物と話せる」という能力を使って大変危険な方法で救おうとします。この二頭はどうなるのでしょうか。この他にも、シリーズがあります。ぜひよんでみて下さい。	「とっておきの詩」という本はつよし君という人が主人公で、その一番仲の良さそうなリサという人物がいて、学校で詩というしゅくだいが出て、はんで話し合って、それで冬休みのしゅくだいのれんしゅうです。つよし君のはんは、いつもまとまらずに、つよし君はこまり顔をしているかんじです。	きつねとおおかみの「おれたちともだち！」シリーズがすきです。「ともだちおまじない」では、みんなでなかよくゆきのなかであそんだりゆきだるまをつくっているページがとてもきれいです。ともだちにであえたことに「ありがとう」というきもちがすきです。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	**チルドレン**	**つむじ風食堂と僕**	**天までひびけ！ドンドコ太鼓**	**トイ・ストーリー**	**東京バンドワゴン**	**図書館戦争シリーズ**
著者	伊坂幸太郎	吉田篤弘	麻生かづこ	デュボウスキー	小路幸也	有川浩
出版社	講談社	筑摩書房（ちくまプリマー新書）	国土社	偕成社	集英社	角川書店(角川文庫)
紹介コメント	「大人が恰好いいと、子どもはぐれねぇんだよ。」家裁調査官である陣内の一言。子育て中の今、何があっても子どもにとって恰好いい親で在り続けようと決心させてくれた言葉でした。	「物語はいつも途中から始まる。」12歳の僕がバスに乗って隣町のレストランに。そこで出会う大人たちはいろんな話をしている。僕はある日仕事について聞くことになった。大人たちは自分の仕事について誇りをもって話す。そんな大人たちがうらやましく、何にでもなれる僕がとてもうらやましい。匿名	ぼくは、天までひびけ！ドンドコだいこが好きです。なぜかは、このさんにんぐみのたいこのバチを投げあうところがいきがピッタリあっているのがすごくおもしろいなと思いました。そして、本番に向かってがんばっているのがすごく心が強い人だなと思いました。そこが一番おもしろかったです。	ぼくは、この本を読んでおもちゃにも命があることが分かりました。ぼくは、ウッディみたいに大切に使わないから、ウッディみたいに大切にすることを学んだ。だから、これからは、大切にすることは、大事なことだから2013年この本にあえてよかったし、物語もおもしろかったのでぜひ見て下さい。	テレビで放送されていたドラマの原作でカフェを営む四世代大家族のお話です。ゆうれいとなった祖母・サチさんの目線で物語が流れ、古本屋に舞い込むいろんな謎の事件を家族で解決。家族っていいなと思える笑いあり、涙ありの本です。　瀧北　杏奈	図書隊の人たちが、本を守るために色々な活動をする話です。登場人物は皆個性的で、本と恋のエンタテインメントになっています。恋愛シーンではドキドキ、危険な任務をしているシーンではハラハラと、色々な気持ちになれる、おもしろい本です。　匿名

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	英語の本	すごいと思った本	感動する本	おもしろい本	いままでで一番感動した本	日本の気持ち
本のタイトル	**DORAEMON1**	**どんぐりむらのおまわりさん**	**とんび**	**ないた**	**泣けない魚たち**	**日本国憲法　小学館アーカイヴス**
著者	藤子・F・不二雄	なかやみわ	重松清	中川 ひろたか作　長新太絵	阿部夏丸	「写楽」編集部編
出版社	小学館（小学館イングリッシュコミックス）	学研教育出版	角川書店(角川文庫)	金の星社	ブロンズ新社	小学館
紹介コメント	このDORAEMONは英語をおぼえるのにいいし、さらに内容もとてもよくおもしろいので英語をおぼえたい人におすすめの本です。いんしょうにのこったところは、スネオがうそをついていたところです。この本は、じゅけんや英語をおぼえたい人にはとてもおすすめしたいとと思います。	どんぐり村のおまわりさんを見て、思ったことは、やさしくてときにはきびしい人だと思いました。おまわりさんはみんなのことを思ってきびしく、「いけません。」「やめましょう。」という言葉をいうのだと思います。えらいなと思いました。	事故によって愛妻の美佐子さんをなくしてしまった、ヤスさんと息子のアキラ。意地っ張りで不器用なヤスさんが息子を育てていく感動ストーリーです。様々な問題を乗りこえていく親子を思うと、なぜだか自然に涙が流れます。とても感動する本です。ぜひ、読んでみてください。匿名	この本は、いっぱいないたところがおもしろいです。ころんでないたところやぶつけてないたところなど、いろんなところでころんでないたおはなしです。ぼくが、いちばんすきなのはこわくてないたところです。くらいからこわいとおもいました。	「泣けない魚たち」は、両親のいないこうすけと、そのたった一人の友達、さとるの7ヶ月間を描いた友情ストーリーです。この二人の生活は、自立し、食べ物も、自分でとった魚やザリガニと、勇気があります。この二人は本当に強い心の持ち主で、かっこいいです。この本は、勇気と感動をもらえます。畠幸希	値段が安い。内容の能力が高い。やるきがあがる。3つのメリットでどうすればこのような充実感を味わえる1冊で、社会人として実働経験がある自分でも大きなきっかけとなった本で相応になる。中でも14条～20条93条などが凄く興味が残る話でいろいろな準備に取りかかることになるような本でした。得田建次

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	共食い	DORAEMON5	ドラえもん「胸キュン感動編」	トリシア、指名手配中!?	謎の独立国家ソマリランド	鳴るは風鈴
著者	金沢伸明	藤子・F・不二雄	藤子・F・不二雄	南房秀久	高野秀行	木山捷平
出版社	双葉社（双葉文庫）	小学館	小学館	学研	本の雑誌社	講談社
紹介コメント	神城高校2年A組の生徒たちが、自分達の悪口をネット上に書いている担任の高尾七海を恨み復讐を計画する。しかし、計画ではクラスで地味な存在の宮田大が自殺未遂のふりをして七海を驚かせるつもりが、その宮田が死体で見つかった。クラスを操る悪魔は誰なのか。ここから生徒たちによる共食いが始まる。	この本はおもしろいし、英語がかいているので勉強になります。マンガなのでとても読みやすいです。おもしろいところは、ウルトラよろいの話の中にあるぶぶんです。みなさんぜひみてください。	ドラえもんの「むねキュン感動編」はさいしょに、のびたのパパがのびたのおばあちゃんにのびたのおばあちゃんのひざにパパがのせたのが感動でした。そして、まん中ぐらいから外で雷がおちてきたので、ドラえもんがたすけてくれました。ぜひ見てください。	トリシアの指名にはいろいろな絵はほとんどないけど、字はいっぱいあります。トリシアの指名の中とかの字はいっぱい書いているけど、絵はほとんどしかないです。トリシアはあんまり絵とかはないけど、トリシアのいろいろな物もないです。	内戦続きで海賊のイメージのあるソマリアだが、そこに国民が話し合いで自力で作り上げた平和な国があるという。著者の体当たりの取材と巧みな話術にはまって、すっかり頭がソマリ化していく。海賊ビジネスの収支を真剣に考える場面に抱腹絶倒。既成概念にとらわれている頭がリフレッシュする。	木山捷平の小説を読むのはこの本が初めてだったのだが、以来すっかりこの著者のトリコになってしまった。肺腑がえぐられるような衝撃があるわけではないし、泣かせてくれるわけでもないし、大笑いさせてくれるわけでもない。でも全然退屈しないし何だか可笑しい。そんな傑作集。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	選択無	かんどうする本	いやなときにはげましてくれる本	選択無	周りの人を大切にしたくなる本	選択無
本のタイトル	日本の毒きのこ　フィールドベスト図鑑	野口英世（おもしろくてやくにたつ子どもの伝記）	乗り物の迷路	はじめてのキャラ弁	花咲家の人々	花図鑑　花屋さんで人気の421種
著者		浜野卓也	香川元太郎作／絵		村山早紀	モンソーフルール監修
出版社	学研	ポプラ社	PHP研究所	学研	徳間書店	西東社
紹介コメント	日本のたべたら中毒をおこすキノコ、なまでたべたら中毒があるけど、ゆでこぼしたらおいしくあじわえるキノコがいっぱいのっている。しゃしんがカラーだからわかりやすいのでいい本だとおもいます。	1879年に野口清作はやけどになりました。まだ、1さい5か月なのにひどいやけどです。そして、となりの家のシカという人がいきなり家の中に入って、清作をだきしめてあげました。そして、そのやけどで清作は左のゆびは内がわにまがったままちぢんで、のびないようになってしまった。	楽しい乗り物や、むずかしい迷路で、楽しくできて笑顔になれるのでおすすめします。	わたしも「みつばちとはなのおべんとう」みたいなかわいいおべんとうをつくりたいです。	花咲家の人々は植物の声を聞くことができる。花はいつも人に幸せがあったとき、人に不幸があったときそばにある。そして花咲家の人々は「花は微笑んでいる」と言う。人も花と同じように、長い時間の中で一瞬のことだけれど、確かにそこにある。それだけでいい。大切なことに気づかせてくれるお話。	私が花図鑑を読んで思った事は、「花言葉や分類」など色々見られてよかったということです。とくにチューリップのカタログのページを見たり、「どんな種類があるか」などのぎもんに答えてくれるような一冊です。ぜひ読んでください。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	**二十四の瞳**	**日本のこころの教育**	**にゃんにゃん探偵団**	**脳内エステIQサプリ**	**「脳にいいこと」だけをやりなさい！**	**のぼうの城**
著者	壷井栄	境野勝悟	杉山　亮		マーシー・シャイモフ	和田竜
出版社	（記入無）	致知出版社	偕成社	フジテレビ出版	三笠書房	小学館
紹介コメント	この物語は、本当にあった話です。戦前から戦後までの先生と子供の絆についての話で生活は貧しかったんですが、人と人とのふれ合いは強かったです。また、先生は十二人の生徒を本当の子供のように愛情を持って見守っている所や子供も先生をしたっている所が印象に残りました。ぜひ読んでみてください。	今更ながら子供に対して、必ず教えなければいけない事が解った気がします。日本人として知っていなければいけない事だと感じます。是非、子供を持つ親、子供たち皆に読んでもらいたい本です。また、自分自身も手元に置いて、何度でも読み返したい本です。匿名希望	この本の主人公は、子どもの本のお店のはなえさんです。はなえさんは、黒星けいぶに、探偵のまねごとになってほしいと、たのまれたのでいろいろな事件をかいけつしていくはなえさんです。とてもおもしろいので、みてください。	この本には、問題がいっぱいのっていて、その問題をよく考えれば誰でもわかります。私もその問題を見てみたら、すぐに答えがわかりました。とてもおもしろい本だと私は思いました。この本を読んだらとても楽しくなりました。	この本は、どうすれば自分自身を自ら幸せの道へと導けるかを徹底的に解説してくれます。脳の中から前向きになっていくことで、みるみるうちに幸せが舞い込んできて第二の人生を送れること間違いなしです。私も、この本を読んで、心が軽くなり、何事もポジティブに据えることができるようになりました。	『のぼうの城』は、時代物でありながら小難しい表現がなく、とても読みやすい。のんびりとしたのぼう様の性格と周囲との人間関係をユーモラスに描いている。武力衝突の描写がきめ細やかなため迫力があり、想像もしやすい。事実に忠実なので歴史嫌いな方はぜひ読んではいかがだろうか。　西山　佳奈

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	思わず笑っちゃう本	思い出の本	一番心に残っている本	何度でも読みたい場面があります	本が苦手な人も楽しめる本	おもしろい本
本のタイトル	**化物語　上**	**はらぺこあおむし**	**パンダのポンポン**	**陽だまりの彼女**	**ヒックとドラゴン**	**ヒックとドラゴン　1伝説の怪物**
著者	西尾維新	エリック・カール／さく　もりひさし／やく	野中柊	越谷オサム	ヒック・ホレンダス・ハドック三世作　クレシッダ・コーウェル古ノルド語訳　相良倫子・陶浪亜希日本語共訳	ヒック・ホレンダス・ハドック三世作　クレシッダ・コーウェル古ノルド語訳　相良倫子・陶浪亜希日本語共訳
出版社	講談社	偕成社	理論社	新潮文庫	小峰書店	小峰書店
紹介コメント	この本は青春、バトル、ラブコメ、ミステリー、などすべての要素がつまっています。内容は、主人公、阿良々木暦が春休みをきっかけに次々と襲ってくる怪異にたちむかっていくストーリーです。一人で読んでいても、思わず、「ぷっ」と笑ってしまう本です。ぜひ読んでください。　匿名	祖母からプレゼントされたのがこの本との出会いだ。彼女は六歳だった僕に日本の絵本も同時にくれたが、僕はこの本のセンスを理解したかったし、表紙の青虫のかわいらしさに魅かれたので、この本のみに没頭した。この本は今、弟妹たちに受け継がれ、ボロボロになっている。弟妹そろっておすすめする。	パンダのポンポンはこの本の主人公です。ポンポンは「きら星亭の」というレストランのコックさんです。ポンポンは食べ物が大好きでおいしそうな食べ物がたくさん出てきます。さらに、お客さんに出す料理の材料をつまみぐいをします。そこがすごくおもしろいです。下浦七瀬	主人公の目線から見る「彼女」のかわいさ、に、女性でもほのぼのしてしまいます。まさに「陽だまり」のようないくつもの場面に、泣いたり笑ったり、最後のほうはサプライズの連続という、不思議なストーリーです。（K.A）	本が嫌いだった僕がこの本を好きになったきっかけで好きになれました。自分がその場を体験しているようでワクワク・ドキドキ楽しめます。また、時には失敗、そして感動と奇想天外なストーリーで癖になりました。ドラゴンや愉快な仲間達との会話も魅力です。一息入れたい時、この本はどうですか。匿名	この本は、主人こうヒックとそのペット、トゥースレスと親友フィッシュといっしょにぼうけんする話です。いろんなききから、いろんなほうほうで生きのびます。うらぎり者につかまったりもします。いろんなドラゴンとたたかったりもします。ドキドキするおもしろい物語です。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	ノンタン　ぶらんこ　のせて	パーティ	パーティ	博士の愛した数式	バカとテストと召喚獣	はじめてさがす星座と流れ星
著者	おおともやすおみ　おおともさちこ	山田悠介	山田悠介	小川洋子	井上堅二	三品隆司
出版社	偕成社	角川書店(角川文庫)	角川書店（角川文庫）	(記入無)	エンターブレイン（ファミ通文庫）	学研教育出版
紹介コメント	ノンタンがいじめられてブランコにのりたのに、ブランコにのれないノンタンが一言いいました。ノンタンもブランコにのるといって、ブランコにのせてもらって、すごくうれしそうだった。	僕はこの本を読んで、友達、親友の大切さ、友情、絆について改めて知り感動しました。一番そう思ったのは小学生から重い病気にかかっている親友を助けるための手術代をどうにかするために銀行強盗するところです。その時、僕ならどうしていたのかなということも考えさせられた本でもあります。　匿名	4人の少年たちは、小学生の頃から親友だった。しかし彼らは、ある事件をきっかけにバラバラになってしまう。だが今日、謎の手紙に誘われ、神獄山で再会する。過酷な山道を登り始め頂上を目指す。山頂で彼らを待ち受けているものとは？　匿名	本書は、家政婦の「私」が、記憶のもたない元数学者の元で、何気ない日常を過ごす、読んで心が暖まる物語である。博士は「一二〇と二八四が友愛数という貴重な数字である」と「私」に教える等、様々な数式を「私」達に説明する。私は、数学の奥深さを改めて感じた。数学好きには面白い一冊。	化学の力によって開発された「試験召喚システム」を試験的に採用し、学力低下が嘆かれる昨今に新風を巻き起こした文月学園。振り分け試験の成績で厳しくクラス分けされるこの学園でテストの結果を受け取った主人公・吉井明久が教室の設備を改善するためたちあがる青春ラブコメディ。	ぼくが、この本を選んだのは夢があるからでした。ぼくは、そのころあることで学者になりたいという夢を持ちました。でも、何の学者になろうかと迷ってしまいました。でも、この本を読んだとき、ぼくの夢が一つにまとまりました。それが、天文学者です。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	勇気がもらえた本	少しだけ大人になれた本	勇気をもらえた本	おもしろくて感動する本	愛と悲しみ	いちばん痛快な本
本のタイトル	人の心をギュッとつかむ話し方81のルール	向日葵の咲かない夏	ふたりだけの運動会	ホームレス中学生　児童書版	ポールとヴィルジニー	ぼくらの七日間戦争
著者	斎藤茂太	道尾秀介	あいはらひろゆき	田村裕	ベルナルダン・ド・サン・ピエール	宗田理
出版社	集英社文庫	新潮社	佼成出版社	ワニブックス	旺文社	角川書店(角川つばさ文庫)
紹介コメント	「明るい話し方」をする人かそうではない人かは、その人の魅力による。相手が、「何を」話しているかというよりも、むしろ「話し方」のほうに影響されることが多い。「明るい話し方」ができる人は、「お気楽」なのではなく、人間力があるのだから人に好かれるのだ。私はこの本を読んで、勇気をもらいました。	この本は、元々母が買っていたもので、最初は表紙に誘われて読み始めました。夏休みを迎える終業式の日に欠席したS君の突然の死。その死体の消失。動物のおかしな死に方が続く事件。そして、生まれ変わり。活字だからこそ、この本の真相をかくして最後でやっと納得できる…そんな話でした。　匿名	リレーの選手を決め、クラスで一番速かった孝太は、アンカーだ。お母さんは病気だが、運動会を見に行けることになった。孝太はとてもがんばる気持ちになった。だが、運動会当日、お母さんが熱を出して行けれなくなった。孝太は、お母さんがこないのでとてもションボリ。はたして孝太はどうする？	この「ホームレス中学生」は、おもしろくて感動する本です。家がなくなったヒロシは、公園でくらします。食べるものがなく、ダンボールを食べるところがおもしろいです。お母さんが病気になって死んでしまいます。ヒロシのたくさんの感謝が感動します。とってもおもしろくて感動するので読んでみてください。	18世紀のフランス島（現モーリシャス諸島）の美しい自然を舞台に、兄と妹のように育ち、子どものころから愛し合っていたポールとヴィルジニーの愛と悲しみを描く。「死で二人の愛を永遠にした」と巻末解説にあるが、読後の印象は読者の数だけある。桃之助	今年よんだ本の中で一番痛快だったのは宗田理さんの「ぼくらの七日間戦争」などのシリーズです。悪い大人をやっつける、というキャッチコピーがぴったりです。いたずらが大好きで、曲がったことが大きらいな「ぼくら」が、いたずらをつかってどんどん相手をこまらせてしまうところが特に痛快でした。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	はだしのゲン	はだしのゲン	はだしのゲン	はだしのゲン1	はだしのゲン2	バッテリーⅡ
著者	中沢啓治著	中沢啓治著	中沢啓治著	中沢啓治著	中沢啓治著	あさのあつこ
出版社	汐文社ほか	汐文社ほか	汐文社ほか	汐文社	汐文社ほか	角川書店(角川文庫)
紹介コメント	昔の戦争中のくらしや戦争あとのくらしがわかる本です。どんなことがたいへんだったかわかります。	テレビでみたのとすこしちがうけどおもしろかったです。	昔のくらしがよく分かり、戦争がどれだけ大変なのかが分かった。	はだしのゲンの主人公中岡元は、第二次世界大戦の終戦前、広島におちた原ばく(ピカ)で家族をうしなった。そんな元がいろいろとがんばる姿がいっぱいある本です。	はだしのゲンはテレビでみたのとはちがってくわしくかいてあった。言葉などがまんがでかいてあってよみやすかった。	バッテリーは中学生になり野球部に入部した男子二人を主人公にしたはなしです。野球部に入部しお互い成長しあう主人公をよんでいるととても感動するし、このはなしを読むと友情の大切さが部活の大切さがとても分かる作品です。バッテリーに出会えて人生が変わりました。　山懸　桜子

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	心に残った本	本棚から呼びかけてきた奇跡の本	お気に入りの本	笑ったり、泣いたり、勇気をくれる本	朗読してもらって心地よかった本	ワイワイする本
本のタイトル	火垂るの墓(「アメリカひじき・火垂るの墓」より)	本屋さんがくれた奇跡	マジックツリーハウス　アルプスの救助犬バリー	松坂大輔　160キロへの闘志	魔法　坪田譲治名作選より「母ちゃん」	まほうのじどうはんばいき
著者	野坂昭如	清水克衛監修　読書普及協会編著	メアリー・ポープ・オズボーン	鳥飼新市	坪田譲治作　石倉欣二絵	やまだともこ
出版社	新潮文庫	イースト・プレス	メディアファクトリー	旺文社	小峰書店	金の星社
紹介コメント	この本は、ジブリ映画でも有名な「火垂るの墓」がノベライズされたものです。戦時中の浮浪児兄妹の餓死をとても印象深く描いてあります。必死に生きていこうとするが、最後は死んでしまい、若者の無力さを感じました。この本を読めば、私たちが経験しなかった戦争について深く知る事ができます。	本棚から私に呼びかけてきた奇跡の本。本のソムリエが贈る9人の人生を変えた、9冊の本の物語。夢中で読んだ。震えた。感動した。涙した。すぐに9冊の本も読んだ。読書が楽しくなった。前向きな気分になった。一冊の本との出会いで人生は変わる。劇的なドラマは私にはないけれど、私自身は変わった。	お気に入りの本は、マジックツリーハウスアルプスの救助犬バリーです。この本は、本の世界にいける、魔法のツリーハウスで、ペニーの魔法をとくために、主人公、ジャックとアニーがアルプス山脈ガラン・サンベルサール峠に魔法をとくため、二つ目に必要な物を探す話です。おもしろいのでぜひ見てください。	この本は、メジャーで活躍している松坂大輔が幼い頃から大人までの生活や出来事が書かれている本です。ぼくも野球をやっていて、憧れの松坂は、どういう人だったのかと思い、読んでみるととても面白く、感動しました。印象に残った事は、甲子園の決勝で無安打完封勝利をしたことです。ぜひ読んで下さい。球	県立図書館で聞いたNHKアナウンサー和久田麻由子さんの朗読「母ちゃん」。耳に心地よい声に私は正太になり安全基地の母ちゃんとお庭を往き来したり、母ちゃんになり幼かった頃の娘の姿を重ねたりしました。シャボンの匂いや鶏の声、平凡で幸せな日常のおはなしの世界にすうっと身を委ねました。里美	私はまほうのじどうはんばいきを読んで、あっこというじどうはんばいきが世の中にあったらいいのになと思いながら読んでいました。あともう一つよかったのは、おとこの子のお母さんが、じどうはんばいきをおすと、キレイなにじになってじどうはんばいきがきえたというせつない所もありいい本です。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	はなこ　八月七日にひろったこねこ	化物語（上下）	ハリー・ポッターと賢者の石	ビブリア古書堂の事件手帖1	ひまわりのおか	100文字でわかる哲学
著者	なりゆきわかこ	西尾維新	J.K.ローリング	三上延	ひまわりをうえた八人のお母さんと葉方丹	鷲田小彌太監修
出版社	ポプラ社	講談社	静山社	アスキー・メディアワークス	岩崎書店	KKベストセラーズ（ベスト新書）
紹介コメント	女の子は、はなこというこねこをひろいました。いつも女の子は、はなこにいやされています。でもある日女の子は、友だちとけんかをしてしまいました。そしてはなこをたたいてしまいました。帰ってこないのでさがすと、死んでいたのです。それから何日かたって、お父さんはこねこをひろってきました。「こねこは2匹」いたよ。	私は妖怪や幽霊に興味があっていろいろと本を読んで来たが、この本を読んで他人がどのように思っているかがよく解ったし、もし本当に妖怪や幽霊に出会ってしまったらどうなるか、自分の持っていた疑問の解決もすこし出来た。私のように妖怪や幽霊に興味を持っている人はぜひ読んでほしい。	この本は、「ハリー」という男の子がさまざまなしれんをのりこえ、けんじゃの石を手にするための話です。また、「ハグリット」との出会い。「ダンブルドア」とのかんけいも、かんどう有り、笑い有りのファンタジーものがたりです。見てみてください。	この本は、ミステリーですが誰でも簡単に読むことができます。栞子さんの本に関する知識が謎を解いていくシーンは、とても魅力的です。ついつい夢中になって読みふけってしまいます。有名なあの本からこの本まで、話に取り上げられています。本好きにはたまらない一冊です。　津田紗也華	わたしが、2013年に出会えてよかったと思う本はひまわりのおかです。宮城県石巻市立大川小学校を大きな津波がおそいました。わが子をなくしたお母さんたちはやがて小学校のそばにひまわりを植えはじめました。ぐんぐん成長していくひまわりに重なるものー。そんなお母さん八人のものがたりです。	長年、おぼろげに、知ったらしく、哲学を読んできた様なつもりでいたり、その様なことを、人に喋ったりしていましたが、これ一冊で、哲学がどういうもので、起源や、主な人や、歴史など、大まかなことが学べました。あと、この本をもとに、学び直そうという気にもなりました。あるスタートです。井上

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	心が温まる本	今までで一番怖い本	選択無	泣ける本	神風のきせき	人と出会える本
本のタイトル	マンガでわかる　よのなかのルール	Missing　神隠しの物語	みんな　みんな　みーつけた	目の見えない犬ダン	蒙古襲来　（コミック版日本の歴史）	燃えてみないか、今を！
著者	横山浩之	甲田学人	木村裕一作　黒井健絵	大西伝一郎	やまざきまこと作画　水谷俊樹原作　加来 耕三企画・構成・監修	松本育夫
出版社	小学館	角川書店（電撃文庫）	偕成社	学研	ポプラ社	ぱるす出版
紹介コメント	この本は、これからのよのなかにやくにたつ本です。私はこの本を読んで、「ありがとう」や「ごめんなさい」などのあいさつの大切さを感じました。自分の気持ちをうまく伝えられない人におすすめです。8コママンガがあっておもしろくて、分かりやすいです。心が温まる本なので、ぜひ読んでみてください。	身の毛もよだつ恐怖とは正にこのことだ。安全な場所など何処にもなく、自分すらも信じることはできない。1人の神隠しから始まり、学校全体を巻きこんだ最悪の恐怖劇は、既に開演のベルを鳴らし終えた。※一部流血表現を含みます。苦手な方にはおすすめできません。　匿名	この本は、しかけえ本です。ねずみくんが、石ころにかくれていて目をとじているライオンさんのしっぽをひっぱってびっくりさせたところがおもしろかったです。それから、チーターかと思ったら、しかけでチョウチョだったところがおもしろいです。よんでみてください。	ダンは目も見えないのに、生まれてすぐ飼い主にすてられてすごくかわいそうでした。希、望さんがみつけてくれてよかったと思います。でも、望さんの家は犬がかえないから、みんなの協力でダンは助かったんだと思います。	蒙古襲来をよんで思ったことは、昔の元（中国）は強かった。しかし、上りく戦は元の国はにがてだった。二度も、日本にしゅうらいしてきた。一度目は、強風（神風）で元は消えた。二度目は、強風、強雨、雷で元はふたたび消えたのがものすごく感動しました。	私の弟の高校時代のサッカー部の監督のお兄様が著者で、自分のサッカー人生について書かれていて、事故で大怪我をされ、再起をしてからずっとサッカーに関わっておられる話です。私はこの本がきっかけで主人と結婚し岡山に来ました。そして現在もこの本の輪が広がっています。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	**プア充**	**福澤諭吉　（アトムポケット人物館）**	**福島きぼう日記**	**フラガールと犬のチョコ**	**ヘレン・ケラー　（コミック版世界の伝記）**	**僕は友達が少ない**
著者	島田裕巳	東桂市作　甲斐謙二画	門馬千乃　門馬健将　門馬海成	祓川学	山田せいこ漫画　三浦拓也監修	平坂読
出版社	早川書房	講談社	講談社	ハート出版	ポプラ社	メディアファクトリー
紹介コメント	誰かと年収を比べて勝っていると安心するとか、仕事のストレスで肉体的・精神的にきついなど、皆さん無理していませんか？お金を稼がないと豊かに暮らせない、そんなことはありません。貧しいからこそむしろ豊かに楽しく生きられるのです。毎日忙しい人に是非おすすめの一冊です。（スターダスト）	この本を読んでいてれきし人物やいろいろなれきしや福澤諭吉のれいせいさといいはんだん力の強さがつたわってきました。諭吉は、あせらず自分のいしをつらぬけていた。だからこそ1万円さつというねだんがつくようなすごい人になれたんだとおもった。	私が出会えてよかった本は、福島きぼう日記です。被災した3姉弟による震災後の生活を書き記した日記です。家もこわれ避難所生活が始まった事や色々苦しかった事が書いてありました。	東日本大震災で被災した犬の実際の話です。フラガールの大森梨江さんとチョコ（犬）は一家の中でも一番の仲良し。でも・・・	私はこの本に出会えてよかったと思います。ヘレン・ケラーはアメリカアラバマ州タスカンビアで生まれ生後6ケ月でしゃべりとても元気なヘレンだったが、そんなヘレンに恐ろしい出来事が。一八八二年二月ヘレンは1歳7ケ月で部屋でたおれていた。ヘレンは耳も目もうしなってしまった。でも感動した瑠菜	僕が、この本をすすめた理由は、友達がいない主人公と、友達がいない友達どうしで新しい部活「隣人部」を、たちあげ、いろいろな部員と友達を作るにはどうしたらいいか考える、物語です。決まった活動内容は無く、ほとんど遊んでいる場面しかありません。　上田大和

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	子どもの頃、出会えてよかった本	友情の大切さが分かる本	おもしろかった本	すきなえ本	おもしろかった本	おもしろい本
本のタイトル	**モモ**	**モンスターハンターEPISODE～ novel.1(ファミ通文庫)**	**やなせたかし　（アトムポケット人物館 ）**	**ゆりくまさん**	**容疑者Xの献身**	**よーくかんがえるかえるくん**
著者	ミヒャエル・エンデ作　大島かおり訳	氷上慧一（著者）　布施龍太（イラスト）	坏紀子作　高見まこ画	立原えりか	東野圭吾	いわむらかずお
出版社	岩波書店	KADOKAWA	講談社	国土社	文藝春秋	福音館書店
紹介コメント	この本は、時間どろぼうと、ぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子「モモ」のふしぎな物語です。子どもの頃は、学校でいろんな事を勉強したり、遊んだり、友達と話したり、1日がとても長いと思います。それを「灰色の男たち」が、うばっていってしまうのです・・・	この本の中の世界には、ハンターという職業があります。そのハンターの中でも、弱いハンターたちの友情がかかれた本です。ハンターは4人までパーティをくむことができるので、友情がとても大切になってくるので、友情の大切さが分かる本なのでぜひ、よんでみてください。　りくちゃん	やなせたかしの本では、最後の方の142ページの所で、アンパンマンに込められたメッセージとは？の所で、やなせ先生は、普通の生活のなかから数えきれないくらいの数、やなせ先生は何と千六百をこえてるじゃんっていう所でどんだけ好きなのかなぁとおもった。	この本は、ゆりくまさんがあかちゃんをせわするおはなしです。わたしがいちばんすきなところは、ゆりくまさんがたったところです。にんぎょうなのにたっていたのがすごいとおもいました。みなさんもみてくださいね。	この容疑者Xの献身はガリレオの作品の1つです。この話は天才物理学者VS数学の天才の戦いである。この2人、親友でありライバルでもある。ひとつの事件で再開したこの2人は事件にまきこまれて、たいけつすることになる。どっちが勝つのか！？ぜひ読んでみてください。　匿名	この本は、かえるくんとねずみくんがでてくるおはなしです。いろいろなどうぶつがでてきておもしろかったです。かえるくんがあめをのんだりして、おもしろかったです。いろいろなどうぶつにあっておもしろかったです。

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	ぼくらの七日間戦争	星の王子さま	星の王子さま	ホルモン焼きの丸かじり	マジックツリーハウス　アマゾン大脱出	まどのそとのそのまたむこう
著者	宗田理	サン＝テグジュペリ	サン＝テグジュペリ作　内藤 濯訳	東海林さだお	メアリー・ポープ・オズボーン	モーリス・センダックさく・えわきあきこやく
出版社	角川書店(角川文庫)	大修館書店	岩波書店（岩波少年文庫）	朝日新聞出版	メディアファクトリー	福音館書店
紹介コメント	この本は中学一年生の主人公が友達といっしょに廃工場を解放区として大人達に立ち向かうぼくらシリーズの最初の巻です。子どもでも大人に立ち向かえる所に心を打たれました。子ども達の運命はどうなるのかドキドキする本です。鴨崎大翔	「星の王子さま」は今までに2回も読みました。子ども向けの本かと思いきや高校生の私でも理解しがいたい本でした。主人公は、砂漠でさまよっていると王子さまに出会い冒険していく物語です。一緒に過ごすにつれて2人は目には見えないきずなが生まれます。読めば読むほど、深くいい本です。	サハラ砂漠のまん中に不時着した飛行士がふしぎな子どもに出会いました。それは、本のタイトルにもなっている「星の王子さま」でした。王子さまは、本当の事しか知りたがらない男の子です。しかし、地球に来て、色々な経験をしながら成長していく姿はPALU自身も考えさせられ、また感動しました。	東海林さだおさんの”まるかじり”シリーズすべて読み、その度に、体重が増えていく今日この頃。すべてのものが、目の前にあるかのように、私の口もある時は焼き肉の口に、ある時はラーメン、今日の夕食はこれ以外考えられんぞ、という気分になる。日々この食欲はすべて、このシリーズにあり。	この本は、1さつに2回の話があるのでとてもいいです。いろいろな話があるのでおもしろいです。アマゾン大脱出は、「闇に消えた忍者」と「アマゾン大脱出」という話があるので、おもしろいです。登場人物は、ジャック、アニー、モーガン・ル・フェイです。マジックツリーハウスは、いろいろな種類があります。	主人が独身時代から持っていた1冊。娘が生れ、1歳になった頃、本棚から娘が取り出しました。初め、私には作者の意図がよく理解できず良さが分からない絵本でしたが、回数を重ねる毎に、家族の愛情たっぷりの内容と悪役？！ゴブリンの癒しが大好きになりました。絶版の1冊、我が家の宝物です。角南

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）	選択無
本のタイトル	四年二組の花丸くん
著者	国松俊英
出版社	くもん出版
紹介コメント	四年二組に花丸さとしくんが転校してきました。なんと花丸ひろしくんと名字が一しょでした。それで、みんから花丸1号、2号なんていわれて、ひろしはおもしろくなくなった。パチンコ店につかまってこまっているところを助けていらい、すっかりさとしに頼りにされてしまう･･･また、見てください。

133冊

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	ママの狙撃銃	まんがアッ！とおどろく科学手品	みさおとふくまる　さようなら、こんにちは	水木しげる　ぼくは妖怪博士	緑の本	名探偵コナン　沈黙の15分
著者	荻原浩	川北 亮司原作	伊原美代子	水木しげる	緑川聖司	青山剛昌原作　古内一成脚本　水稀しま著
出版社	双葉社（双葉文庫）	金の星社	リトルモア	小学館	ポプラ社（ポプラポケット文庫）	小学館（小学館ジュニアシネマ文庫）
紹介コメント	この本は、ふたりの子どもに恵まれ、幸福な日々を送る福田曜子の話です。幼い頃、アメリカで暮らした曜子はある「仕事」をします。そして、25年ぶりに仕事の依頼がきます。家族を守るために、曜子は再びレミントンM700を手にします。読み出したら止まらない本です。	ぼくが、2013年に出会えてよかった本は、アッ！とおどろく科学手品です。なぜかというと、身近にある科学の自ぜんげん象を利用して、マジックができるからです。この本はテレパシーであてる十円玉や重くなるふしぎなコップなどをしょうかいしている本です。	モノクロ写真集に詰まった幸福色。孫が撮影したからできた自然で飾り気のない表情。日常の切り取り方に引き込まれたその日のうちに本屋さんに注文しました。搬送便で届いた11年刊の『みさおとふくまる』と合わせて……。畑に出かける1人と1匹の姿に命のいとおしさを感じたREDでした。	水木しげるさんがであったようかいのはなしや、ようかいのシリーズなど、ようかいじつわマンガなどいろいろなはなしがあり、クイズまであるすばらしく、ちょっときみょうな話でもある本です。ちょっとおもしろい部分もあります。ようかいシリーズでは、こわいものもいれば、かわいいのもいるお話です。	この緑の本は、主人公のみどりが、夏休みにバスケのれんしゅうで、おとまりをして、その日は雨できもだめしができないかわりに、こわい話をすることになりいろいろなこわい話がでて、その中でぺとぺとさんが、こわかったです。ほかにも、いろんな色の本があるので読んでみたいです。	ぼくが、感動したところはコナンがやられている子どもたちを助けて、みんなはにげれたけどコナンは雪の中にうまって、それをみんなが必死に助けるところが感動しました。そういうみんなをぼくは見習いたいです。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）
本のタイトル
著者
出版社
紹介コメント

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	もしかしたら名探偵	モモ	森のネズミの冬ごもり	モンスターズ・インク（ディズニーアニメ小説版）	モンスターズ・ユニバーシティー （ディズニーアニメ小説版）	野球ボール　あいつと追いかけた夢
著者	杉山亮	ミヒャエル・エンデ	岡野 薫子／作　 上条 滝子／絵	キキ・ソープ	アイリーン・トリンブル	aN
出版社	偕成社	岩波書店(岩波少年文庫)	ポプラ社	偕成社	偕成社	スターツ出版(ケータイ小説文庫野いちご)
紹介コメント	だれが犯人なのかドキドキしました。3話は3つとも名セリフがあるのでとってもおもしろかったです。犯人がにげてしまうお話しもあるけど、ほかのお話はとってもおもしろかったです。話のほかにもクイズやもんだいがあるのでとてもとてもおもしろかったです。犯人がつかまった時は、うれしく思います。	モモという不思議な少女と町の人達の冒険物語です。みんなで楽しく暮らしていたある日、「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄ります。それに立ち向かっていく、勇敢なモモとその仲間に必見です。「時間」とは何かを改めて考えさせられる作品です。ぜひ、読んでみてください。	ちっちゃな女の子がかまくらを作るとネズミの子どもが「たべないでー」とさけんだところがおもしろかったです。ほかにもかわいそうなところもありました。それは、ネズミが、とりにたべられそうになったところです。でもせーふでした。わたしは、どうぶつがだいすきなのでとくにかわいいネズミがすきです。	私がこの本を読んで感動したことは、サリーとマイクが必死で人間の子をかえそうとしているところです。でも、ランドールというモンスターと助手のファンガスがじゃまをしてきてでも人間の子をかえそうという心があるんだと思いました。最後は、子どもをもどしてモンスターズ・インクを変えていく話です。	ぼくがこの本を選んだ理由は、感動シーンがあるからです。マイクは、ユニバーシティーという大学に入りサリーというモンスターと出会います。しかし、こわがらせ大会でサリーがずるをしてしまいます。マイクがおこって人体の世界へ。そして、事件が。マイクはモンスターの世界へもどれるか。ぜひ見てください。	私は、2013年に野球ボールという小説を読んで、なにかを犠牲にして、なにかを得るのは損。好きなら諦めずに、どっちも全力で追いかけること。この小説は、両方全力で、とりくめば、きっと未来はひらく。私は、そうつたわってきました。みなさんもぜひ、読んでみてください。　大規

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）
本のタイトル
著者
出版社
紹介コメント

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	やくそくだよ、ミュウ	野心のすすめ	野生のゴリラと再会する	豊かに成功するホ・オポノポノ	夢をかなえるゾウ	楽天イーグルス　優勝への3251日
著者	小手鞠るい	林真理子	山極寿一	イハレアカラ・ヒューレン 河合政実	水野敬也	山村宏樹
出版社	岩崎書店	講談社現代新書	くもん出版	SBクリエイティヴ	飛鳥新社	KADOKAWA（角川SSC新書）
紹介コメント	ミュウは、ぼくのおねえちゃん犬だけど･･･ぼくはミュウと一緒に、たんけんをしたり発見をしたりした。この本は、ミュウとぼくの大切な話。ミュウとのやくそくは、ミュウが死んでも、泣かない事。ミュウは、最初はとても活発だった。でも、だんだん弱り死んだ。ぼくは泣いた。やくそくを守れなかったんだ。	筆者のがむしゃらに人生、運命に目的意識をもって立ち向かっていく生き方がとても新鮮、痛々しいほどひたむきに直進する生き方に感動します。	わかれてから26年もたっていたのに、作者を覚えていたタイタス。じっと見つめたり、ゴリラ語であいさつし合ったり、再会の場面にハラハラドキドキした。タイタスが笑い、子どもにもどってあそんでいる様子が想像できてうれしくなった。ゴリラの世界はまだわからないことが多い分、知りたくなる。	「ありがとう」「ごめんなさい」「許して下さい」「愛しています」の言葉を唱えるだけで記憶が消せるですって!?数年前知人に言われたときは全く信じなかった私。でも実際にこの本を読んで実行してみたら、本当に迷いが消えた。少しコツがいるけれど自分の心の声を聴く必要を教えてくれた1冊。	この本は、ごく平凡なサラリーマンが「神様」を名乗るガネーシャの指南によって自分の人生が変わる話です。私はこの本を読んでこんなことをするだけでこんなに人生が変わるのかと思いました。また、ガネーシャが関西弁ですごくおもしろいです。この本は学べて笑いがあるとてもいい本だと思いました。	この本は、プロ野球の楽天が創設した時から日本一になるまでのことが書かれていて、興味深い一冊です。この本を書いた人は元楽天の投手で創設時の時からいて、昨年引退した人なので、選手しか知らないことなどが書かれていて、名言もあるのでぜひ野球を知らない人も読んでもらいたいと思います。

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）
本のタイトル
著者
出版社
紹介コメント

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル	ルドルフとイッパイアッテナ	レンタルロボット	レンタルロボット	ローワンと魔法の地図	私が一番受けたいココロの授業 講演編 与える者は、与えられる―。	私は負けない
著者	斉藤洋	滝井幸代	滝井幸代	エミリー・ロッダ	比田井和孝,比田井美恵	村木厚子
出版社	講談社	学研教育出版	学研教育出版	あすなろ書房	ごま書房新社	中央公論新社
紹介コメント	くろねこのルドルフはさかなやのおじさんからさかなをぬすんでいしをなげつけられて、にげてトラックにのってしまってとおいところまではこばれた。おそるおそるおりると、このあたりでとても大きいねこ、ボスねこからよびとめられた。ふたりがいっしょにぼうけんするおはなし。平田あゆむ	この本は、今弟がほしい人と弟がいらない人の両方の気持ちがわかる本です。主人公も最初は弟がほしかったけど、ロボットの弟をもらった時うれしかったけど、そのうちお兄ちゃんなんだからといわれるようになり、そんな弟がいらなくなったりといろいろな気持ちがわかる本です。	一人っ子の男の子がロボットをレンタルするお話しです。ぼくにも弟がいます。弟に暴言をはいたりして、弟を悲しませたりする事があります。そんな当たり前の日々の生活の中で今一度自分を見返せる感動的なお話しです。そんな意味を込めながら、この本をぜひ読んでください。	この本には、竜、底なし沼など、ファンタジーにおなじみの物がでてきます。が、ちがう所もあります。主人公です。この本の主人公はおくびょうで、さいごまでおくびょうなのです。ですが、さいごのさいごにはそれはおくびょうでなく、優しさだと気づかされ、こきょうをすくいます。ぜひ読んでみてください。	感動の涙の連続。本当の幸せとは何か？と疑問を抱いた、就職専門学校の教師が、贈る感動の講演の内容。人の役に立っているんだという自身、喜ばせた感動、必要とされているという自分の存在感が、生きる喜びにつながる。幸せとは何かを、あらためて考えてさせられた素敵な内容だ。	元厚労相の局長による検察の取り調べ状況が刻銘に記載されている貴重な文献ともいえる実話である。市民が冤罪を受けないよう一読に値する

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）
本のタイトル
著者
出版社
紹介コメント

テーマ「2013年に出会えてよかった本」

本のタイトル
著者
出版社
紹介コメント

162冊

テーマフリー

テーマ（投稿者が自由にテーマ設定）
本のタイトル
著者
出版社
紹介コメント